MODELLISTA

MSD44－30007/8
サイドスカート

取付・取扱要領書

この度はサイドスカート（MODELLISTA）をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
本書は本商品の取り付け、取り扱いについての要領と注意事項を記載してあります。
取り付け前に必ずお読みのうえ、正しい取り付け、取り扱いを実施してください。
なお、本書は必ずお客様にお渡しください。

★ 本商品は登録後架装を前提としています。

■ 品番・適合車種

品　番	塗装色	適合車種	備　考
MSD44-30007-A0	プレシャスホワイトパール（090）	クラウン（エステート）	
MSD44-30007-C0	ブラック(202)		
MSD44-30007-C1	ニュートラルブラック(229)		
MSD44-30008-NP	未塗装品		

・ 最新の適合情報はモデリスタ カタログサイトをご覧ください。https://www.modellista.co.jp/

■ 構成部品

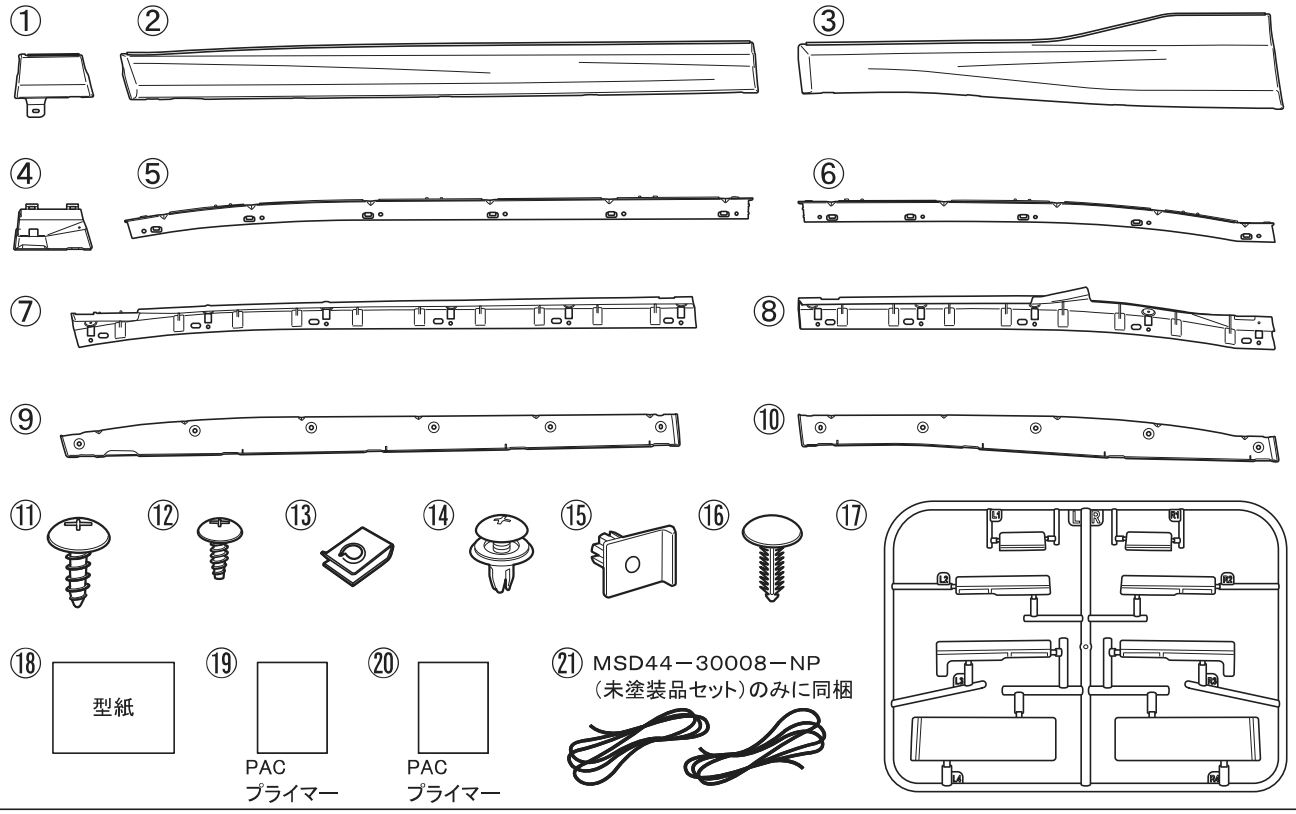
No.	品　名	数量	備考
①	FRフェンダーアウター(RH/LH)	各1	
②	FRドアアウター(RH/LH)	各1	
③	RRドアアウター(RH/LH)	各1	
④	FRフェンダーインナー(RH/LH)	各1	
⑤	FRドアインナー(RH/LH)	各1	
⑥	RRドアインナー(RH/LH)	各1	
⑦	FRドアリテーナー(RH/LH)	各1	
⑧	RRドアリテーナー(RH/LH)	各1	
⑨	FRドアカバー(RH/LH)	各1	
⑩	RRドアカバー(RH/LH)	各1	
⑪	タッピングスクリュー(A) 6×16	2	
⑫	タッピングスクリュー(B) 4×12	42	
⑬	Uナット	42	
⑭	スクリベット	24	
⑮	グロメット	2	
⑯	ブラッシュクリップ	8	
⑰	位置出しゲージ	1	FRドア1,2(RH/LH)　RRドア3,4(RH/LH)
⑱	型紙	1	FRドアA,B(RH/LH)　RRドアC,D(RH/LH)
⑲	PACプライマー(赤袋)	1	N210NT　08867－00250
⑳	PACプライマー(青袋)	1	K-500　08867－00230

以下、MSD44－30008－NP(未塗装品セット)のみに同梱

No.	品　名	数量	備考
㉑	イ型モール	2	ブラック　L2100

※確認・本商品が到着後すぐに、本体に破損がないこと、付属品がそろっていることを確認してください。

■ 構成部品図　※ RH/LH部品は図中にLHのみ表示しています。



取り付け上のご注意（取り付け作業者の方へ）

作業を行なう前に必ずお読みになり、安全で確実な取り付け作業を行なってください。

⚠警告	この内容に従わず、誤った取り付け・取り扱いを行なうと生命の危険または、重大な傷害等を負う可能性がある内容について記載しています。
⚠注意	注意事項を守らないで、誤った取り付け・取り扱いを行なうと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがある事を記載しています。
アドバイス	スピーディに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

⃠ やってはいけないこと　　❗ 必ず行なっていただくこと

⚠警告

⃠ 本商品への改造・加工、及び適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招くおそれがありますので絶対に行なわないでください。
❗ 本商品の取り付け・交換は、該当車両の修理書(トヨタ自動車㈱発行)に従い、本書の注意事項を守り作業を行なってください。
❗ 取り付け作業は規定トルクに従って、確実に締め付けてください。締め付けが足らないと脱落等により重大な事故や故障を招くおそれがあります。

⚠注意

❗ 本商品を取り付け前に、本体・構成部品がすべて揃っていること、損傷や不具合が無いことを確認してください。取り付け後に発覚した損傷や不具合のクレームには、対応できない場合があります。
❗ 本商品の取り付けは、キズ付き防止のため保護シートの上で取り扱いを行ない、同時に取り付け部位を保護材にて養生をした上で作業を行なってください。取り付け作業時のキズ付きや破損に十分に注意してください。

脱脂作業について（別添の脱脂作業要領も参考にしてください。）

⃠❗ 脱脂作業を行なう際は、清潔なウエスを使用して、イソプロピルアルコール(IPA)を使用し、記載以外の溶剤は絶対に使用しないでください。
⃠ 脱脂作業にボディーコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナー等の溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。

両面テープについて

❗ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。
⃠ 両面テープは一度貼り付けてから剥がすと、接着力が低下し再貼り付けはできません。
⃠ 本商品の両面テープは、環境温度が20℃以下の低温時には接着能力が著しく低下します。
低温で接着した場合、両面テープが剥がれる可能性があります。
❗ 両面テープの圧着は49N（5kgf）以上(車両が軽く揺れる程度)で確実に行なってください。
圧着が不足した場合、両面テープが剥がれる可能性があります。
⃠ 本商品の取り付け後24時間は、洗車や水(水拭きを含む)・雨などが、かからないようにしてください。
装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

取り付けが終わったら

❗ 取り付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
❗ 作業でバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行なってください。
❗ 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。
該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、各部の点検・調整・設定を行なってください。

■ 目次

１．表紙、品番・適合車種、構成部品、構成部品図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１～２
２．取り付け上のご注意（取り付け作業者の方へ）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３
３．目次、取り付けに必要な工具・保護具・消耗品、保証について、取付構成図・・・・・・・４
４．取付準備、取付要領・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５～３４
５．取付完了後の点検・注意事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３４
６．未塗装品の取り扱いについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３５
７．補修キット両面テープ貼り付け・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３６

■ 取り付けに必要な工具・保護具・消耗品

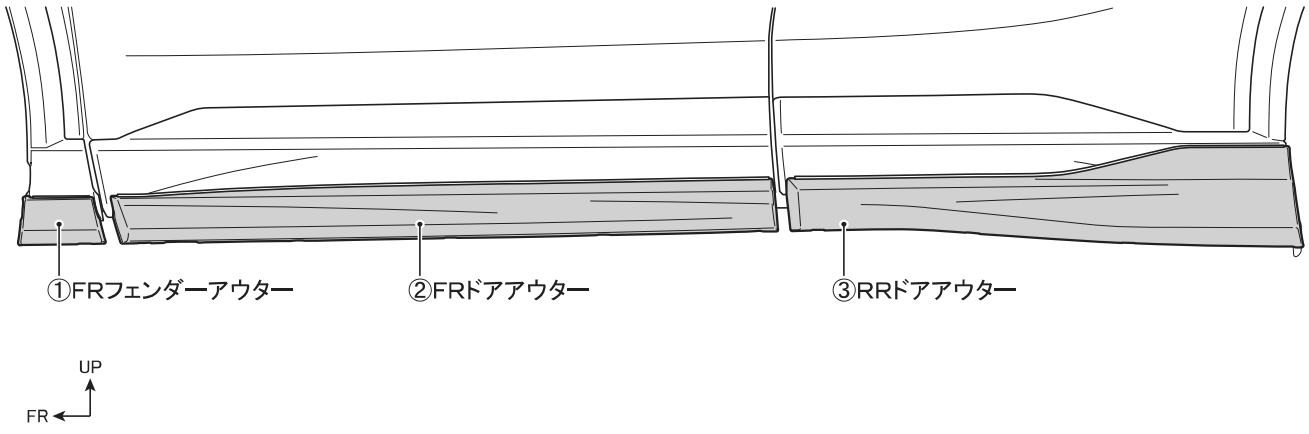
・一般工具
・加工用工具（ハサミ・カッター等）・ヤスリ・ニッパー
・電動ドリル（刃：3.0mm/5.0mm/6.5mm/10.0mm）
・軍手・保護メガネ・保護シート・保護テープ・マスキングテープ・養生テープ
・イソプロピルアルコール（IPA）・清潔なウエス

■ 保証について

本商品は、1年・20,000kmの保証を実施致します。
（1年または20,000km走行時点のいずれか早い方まで）
※保証の詳細はモデリスタ パーツカタログサイト＜https://www.modellista.co.jp/＞
「保証について」をご覧ください。

■ 取付構成図

LH図示



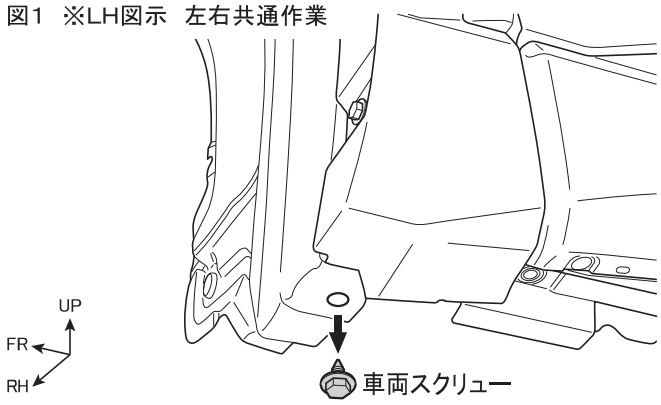
■ 取付準備、取付要領

※ 本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行なってください。

□ サイドスカート取付準備

【FRフェンダーインナーの取り付け】

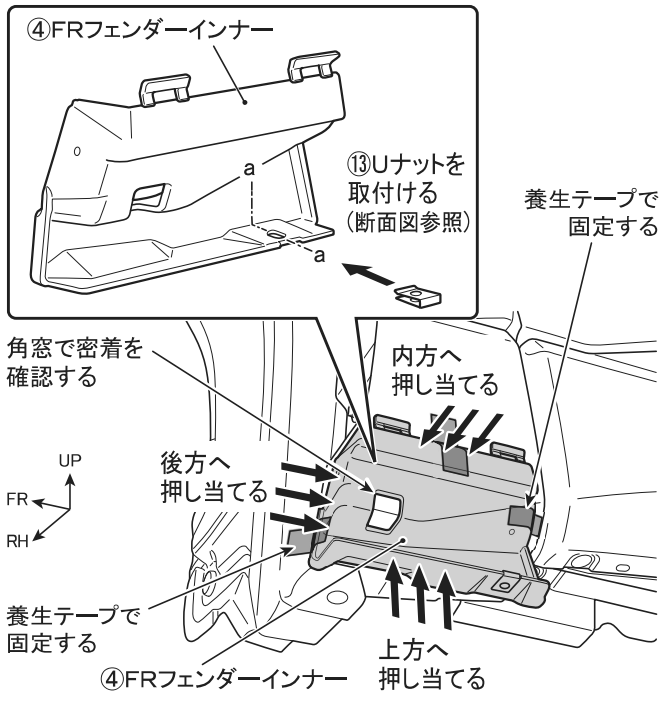
図1　※LH図示　左右共通作業



1. 車両FRホイールハウス部の車両スクリューを取り外す。

⚠注意：取り外した車両スクリューは復元時に再使用します。失くさないように必ず保管してください。

図2　※LH図示　左右共通作業



2. ④FRフェンダーインナーに⑬Uナットを取付ける。（1箇所）（断面図参照）

④FRフェンダーインナーを車両FRホイールハウス部に被せ、車両後方・上方・内方へ押し当てて合わせる。

④FRフェンダーインナーがに密着していることを角窓で確認し、養生テープで固定する。

［a-a 断面］

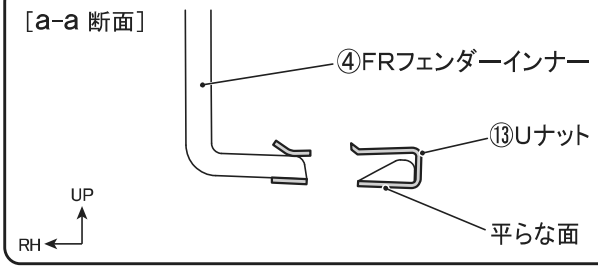
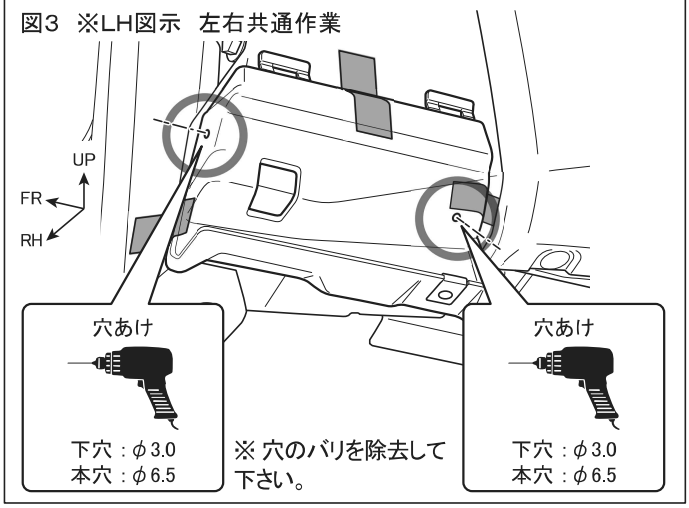


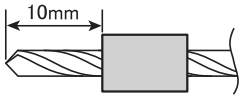
図3　※LH図示　左右共通作業



3. ④FRフェンダーインナーの〇凹部（2箇所）の位置に、下穴φ3.0 →本穴φ6.5 の順で、貫通穴をあける。（図3参照）

穴あけ後、バリを除去する。

アドバイス：傷つき防止のため、ドリル尖端から約10mmの位置に、養生テープ等を巻いてください。



アドバイス：ドリルが入らない場合は、ハンドルを切ってスペースを確保してください。

4. ④FRフェンダーインナー上部の位置出し形状の上端に合わせ、取り付け高さ位置出しのマスキングテープを貼る。(図4参照)

5. ④FRフェンダーインナーの端末に合わせてマスキングテープを貼る。(図4参照)

図4　※LH図示　左右共通作業

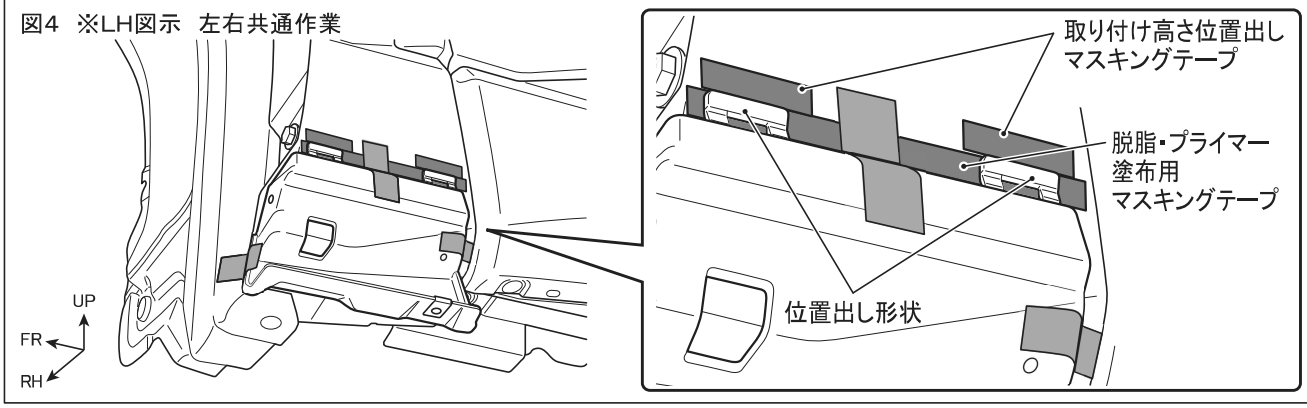
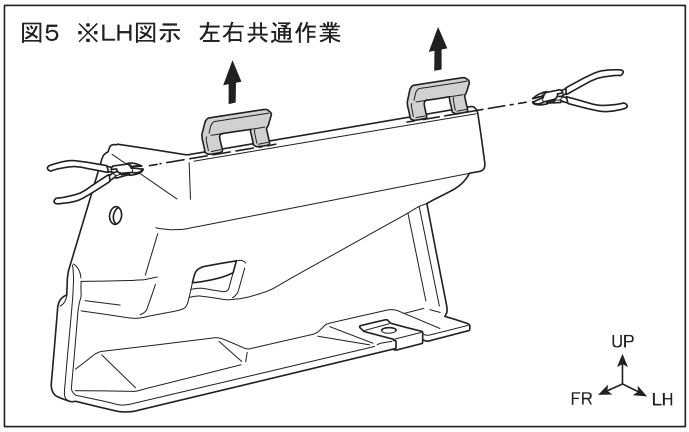
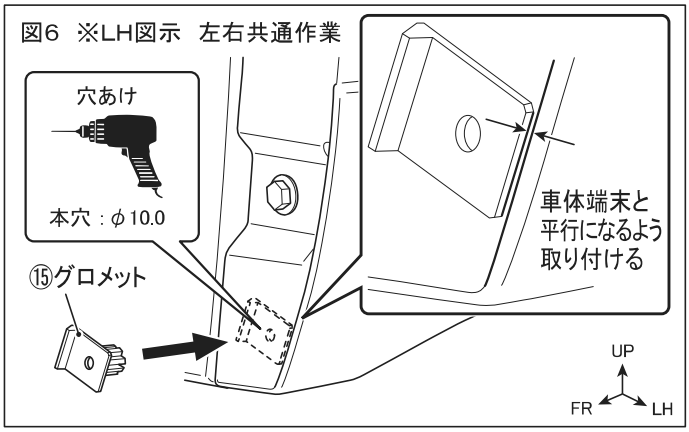


図5　※LH図示　左右共通作業



6. ④FRフェンダーインナーを取り外し、位置出し形状をニッパー等で切り取る。

図6　※LH図示　左右共通作業



7. 車両ホイールハウス側の穴(φ6.5)に本穴φ10.0をあけ、⑮グロメットを図6のように、車体端末と平行になるよう取り付ける。

アドバイス：傷つき防止のため、ドリル尖端から約10mmの位置に、養生テープ等を巻いてください。

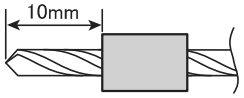
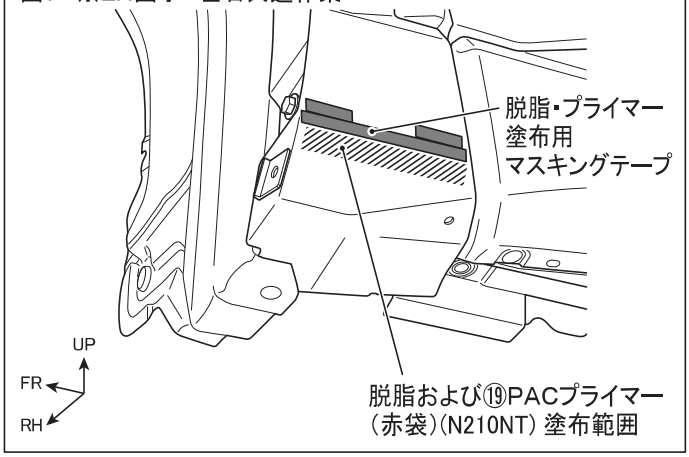


図7　※LH図示　左右共通作業



8. 車両の図7の斜線部(幅30mm)をイソプロピルアルコール(IPA)で一方向に拭いて脱脂し、⑲PACプライマー(赤袋)(N210NT) を塗布する。

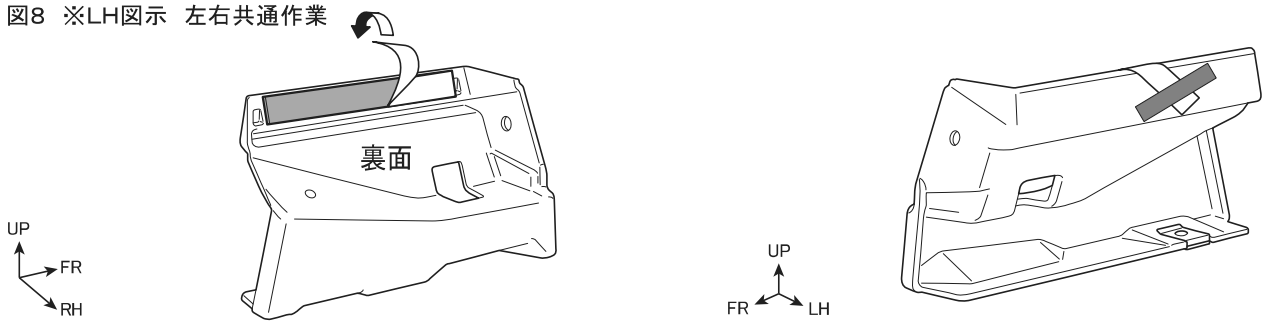
⚠注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

⚠注意：脱脂作業を行う際は、換気に注意して火気を近づけないようにしてください。

アドバイス：脱脂後は、十分に乾燥させてください。

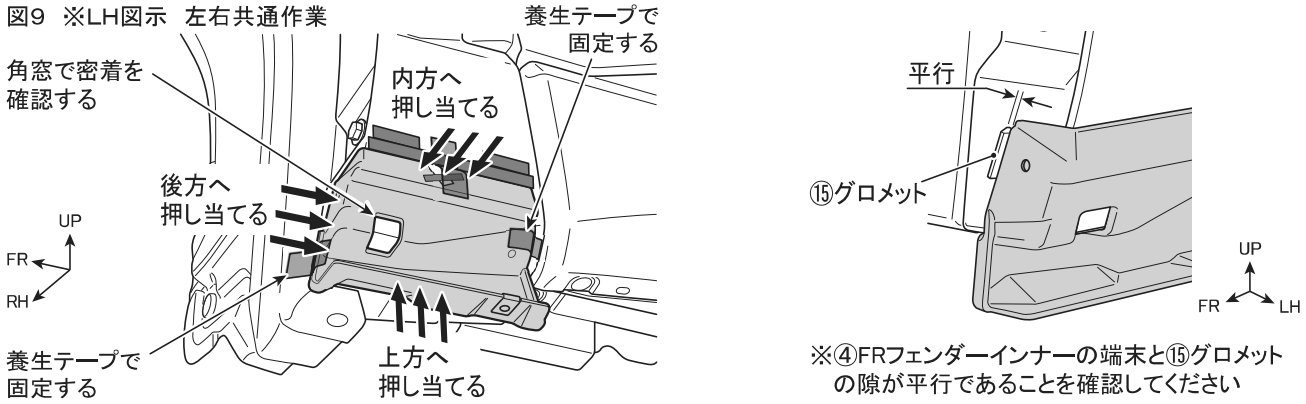
9. ④FRフェンダーインナーの両面テープ離型紙の一部約30mmを剥がし、表側に折り返して、マスキングテープで貼り付ける。

図8　※LH図示　左右共通作業



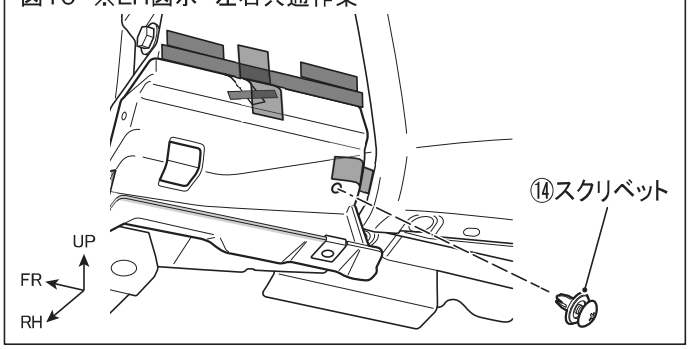
10. ④FRフェンダーインナーを車両FRホイールハウス部に被せ、車両後方・上方・内方へ押し当てて合わせる。
④FRフェンダーインナーがに密着していることを角窓で確認し、養生テープで固定する。

図9　※LH図示　左右共通作業



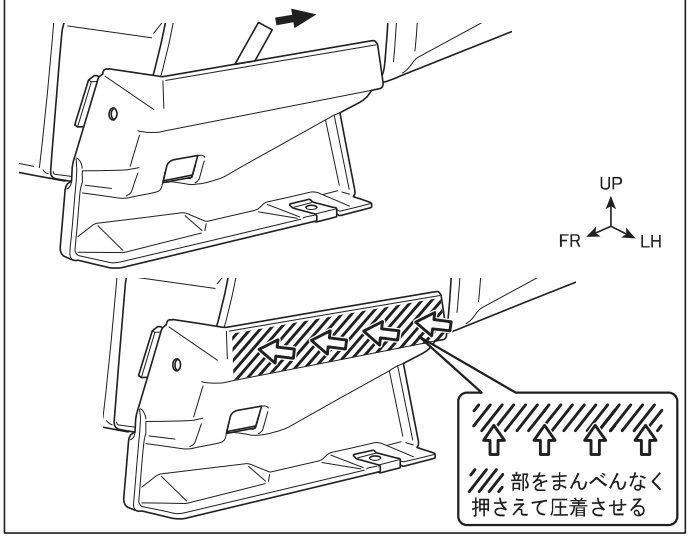
※④FRフェンダーインナーの端末と⑮グロメットの隙が平行であることを確認してください

図10　※LH図示　左右共通作業



11. 車両側面側の穴に⑭スクリベットを差し込み、④FRフェンダーインナーを取り付ける。

図11　※LH図示　左右共通作業



12. ④FRフェンダーインナーの両面テープ離型紙を矢印の方向に引き抜き、④FRフェンダーインナーを圧着する。

⚠注意：圧着の際は、取付位置がズレないよう注意して圧着してください。

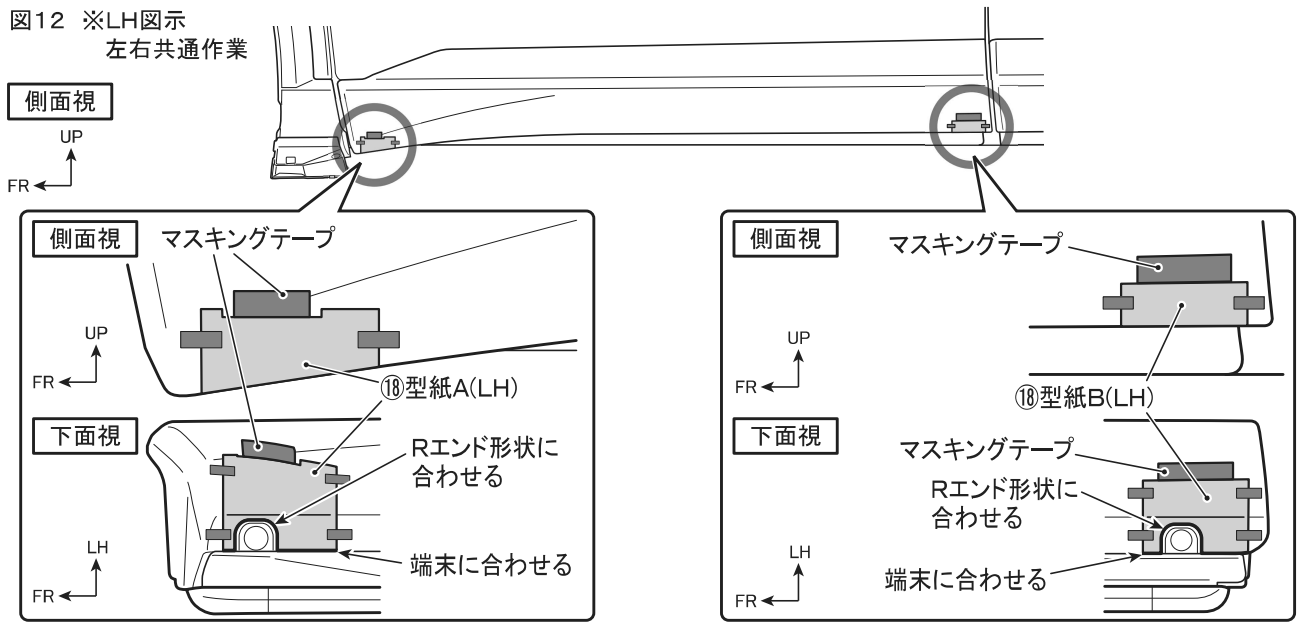
アドバイス：

- 両面テープの貼り直しをすると、接着力が極端に低下します。意図しない箇所に付かないよう気を付けて作業をしてください。
- 両面テープの圧着は、49N（5kgf/cm2）程度の力で行なってください。

【FRドアインナーの取り付け】

1. ⑱型紙A・B(LH)を切り抜き、車両FRドアの形状に合わせて貼り付ける。
　⑦FRドアリテーナーの取付高さ位置をマスキングテープでマーキングして、⑱型紙A・B(LH)を剥がす。

図12　※LH図示
左右共通作業



2. ⑤FRドアインナーの上部、A部凸・B部凸・C部凸を、車両FRドア部下面のA部穴・B部穴・C部穴に差し込む。

図13　※LH図示　左右共通作業

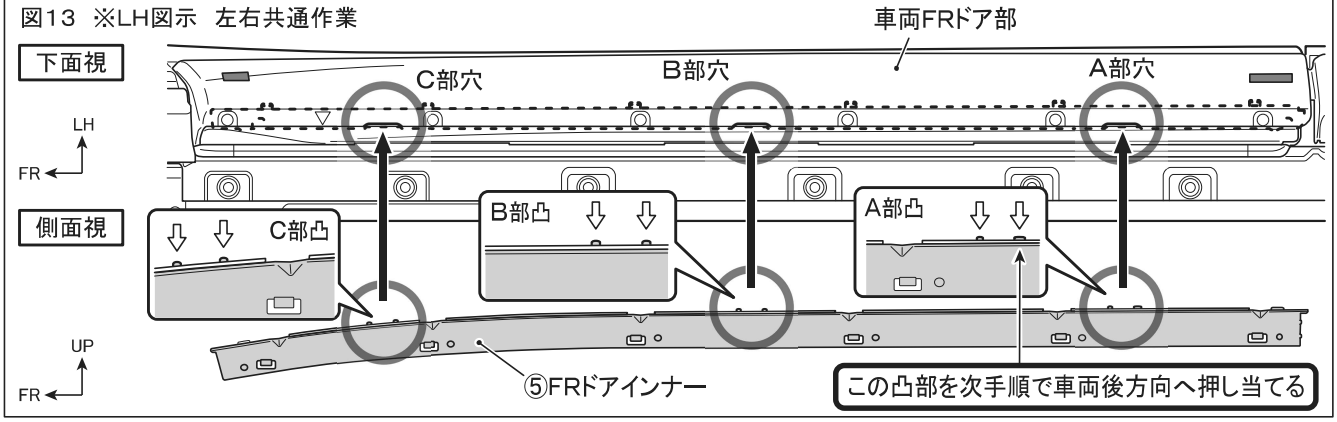
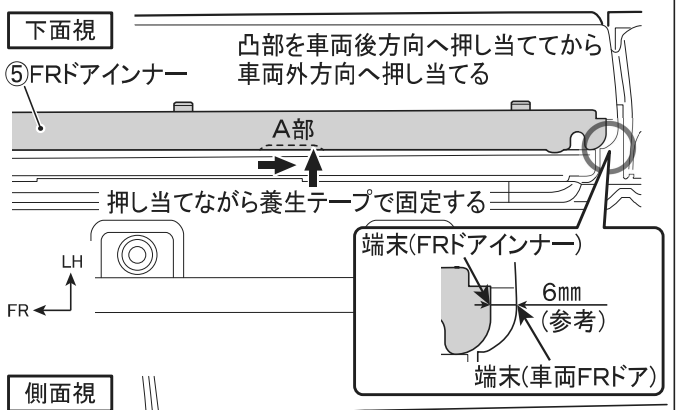
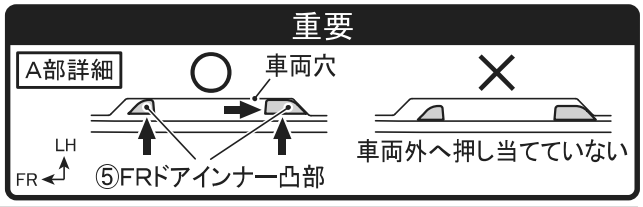
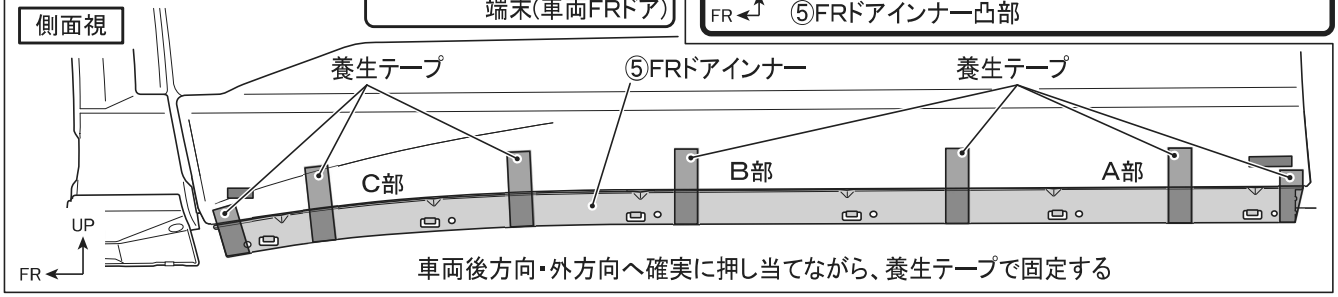


図14　※LH図示　左右共通作業



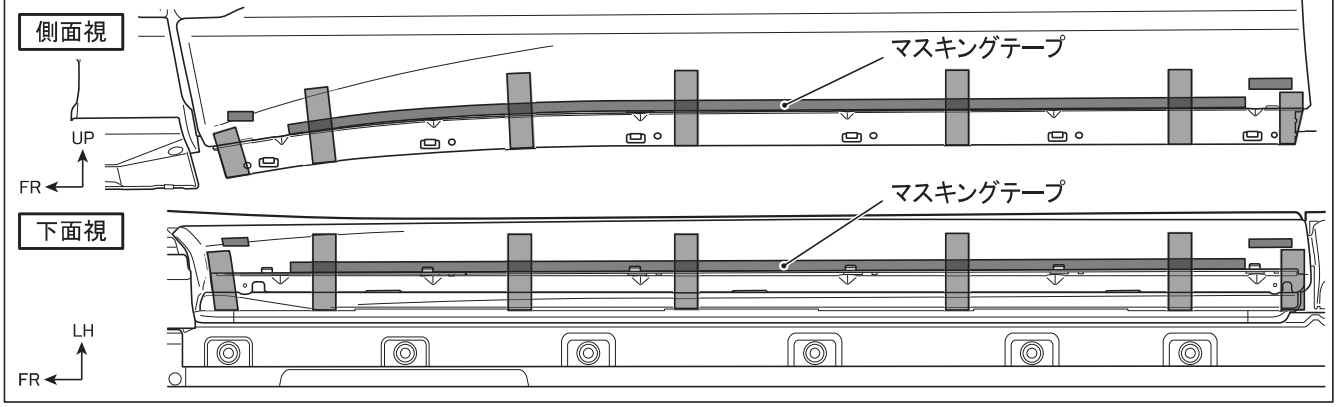
3. 前手順でA部穴に差し込んだ⑤FRドアインナーのA部凸部を、車両後方向および車両外方向へ確実に押し当て、端末の寸法が6mm(参考)である事を確認して⑤FRドアインナーの後端とA部付近を養生テープで固定する。続いてB部、C部の順に凸部を車両外方向へ押し当てながら、養生テープで固定していく。





4. ⑤FRドアインナーの端末に合わせてマスキングテープを貼る。

図15　※LH図示　左右共通作業



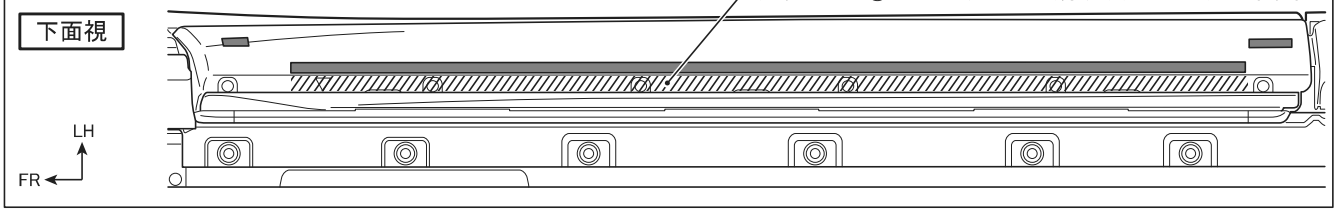
5. ⑤FRドアインナーを取り外し、車両の図16の斜線部をイソプロピルアルコール（IPA）で一方向に拭いて脱脂し、⑲PACプライマー（赤袋）（N210NT）を塗布する。

⚠注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

⚠注意：脱脂作業を行う際は、換気に注意して火気を近づけないようにしてください。

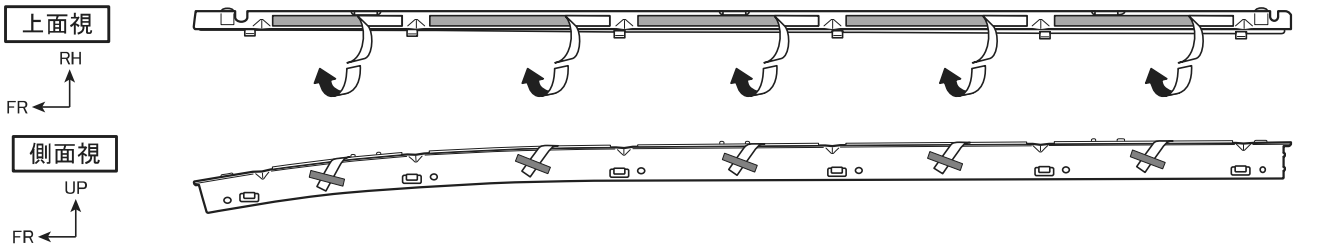
アドバイス：脱脂後は、十分に乾燥させてください。

図16　※LH図示　左右共通作業



6. ⑤FRドアインナーの両面テープ離型紙の一部約30mmを剥がし、車両外方向に折り返して、マスキングテープで貼り付ける。

図17　※LH図示　左右共通作業



7. ⑤FRドアインナーの上部、A部凸・B部凸・C部凸を、車両FRドア部下面のA部穴・B部穴・C部穴に差し込む。

図18　※LH図示　左右共通作業

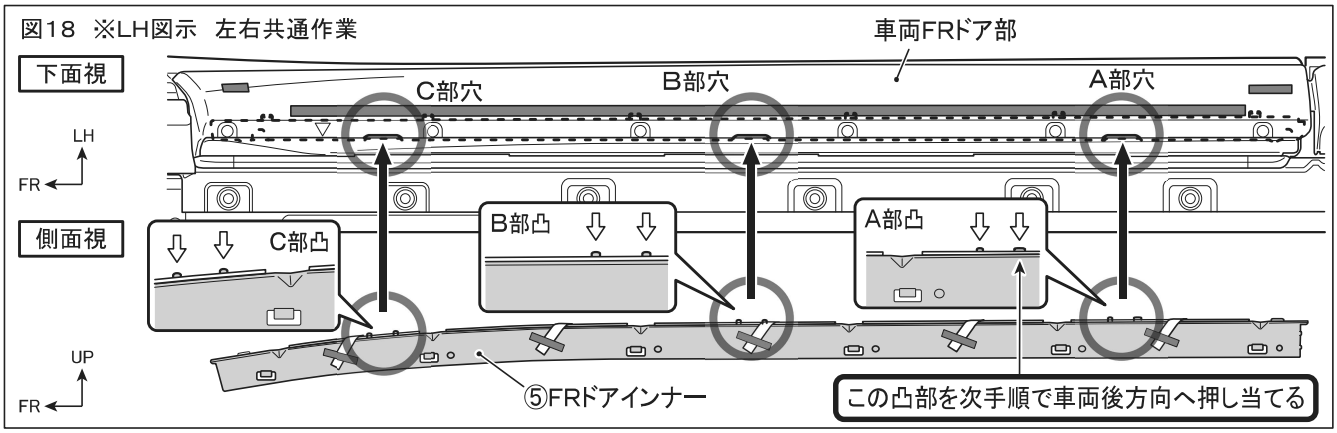
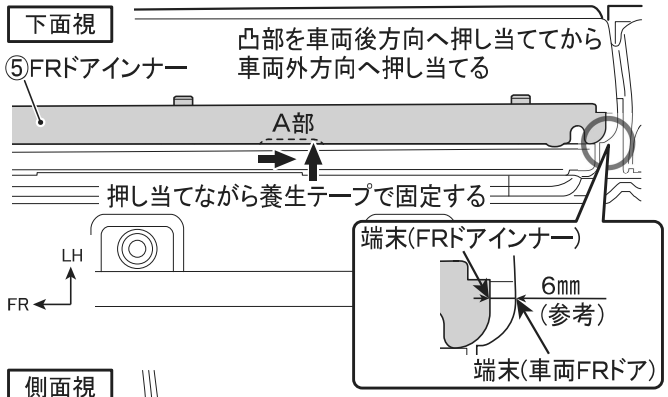
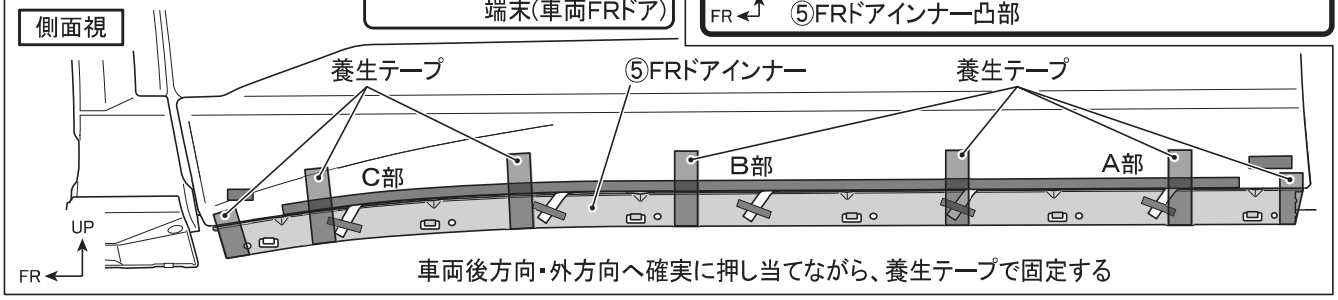


図19 ※LH図示 左右共通作業

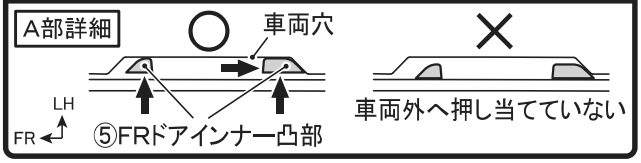




車両後方向・外方向へ確実に押し当てながら、養生テープで固定する

8. 前手順でA部穴に差し込んだ⑤FRドアインナーのA部凸部を、車両後方向および車両外方向へ確実に押し当て、端末の寸法が6㎜(参考)である事を確認して⑤FRドアインナーの後端とA部付近を養生テープで固定する。続いてB部、C部の順に凸部を車両外方向へ押し当てながら、養生テープで固定していく。

重要

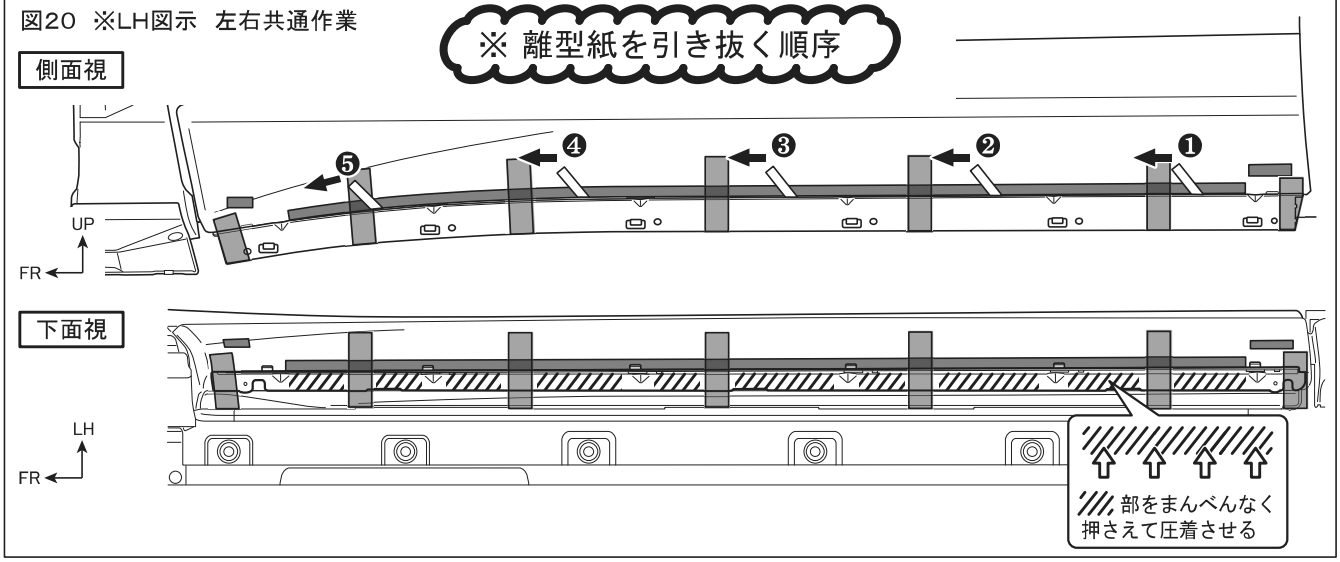


9. ⑤FRドアインナーの両面テープ離型紙を矢印の方向に引き抜き、⑤FRドアインナーを圧着する。

⚠注意:圧着の際は、取付位置がズレないよう注意して圧着してください。

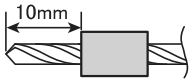
アドバイス:
- 両面テープの貼り直しをすると、接着力が極端に低下します。意図しない箇所に付かないよう気を付けて作業をしてください。
- 両面テープの圧着は、49N (5kgf/cm2) 程度の力で行なってください。

図20 ※LH図示 左右共通作業



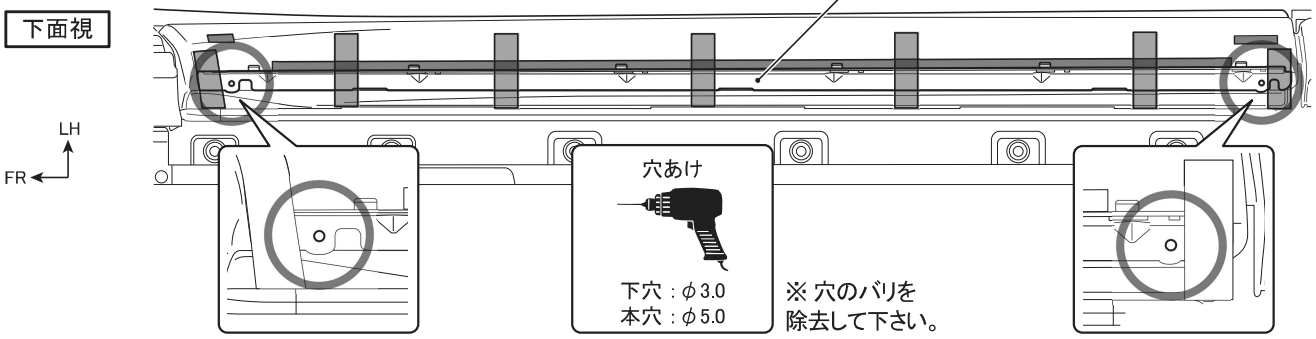
10. ⑤FRドアインナーの〇凹部（2箇所）の位置に、φ3.0 → 本穴φ5.0 の順で貫通穴をあける。（図21参照）
穴あけ後、バリを除去する。

アドバイス：傷つき防止のため、ドリル尖端から約10mmの位置に、養生テープ等を巻いてください。



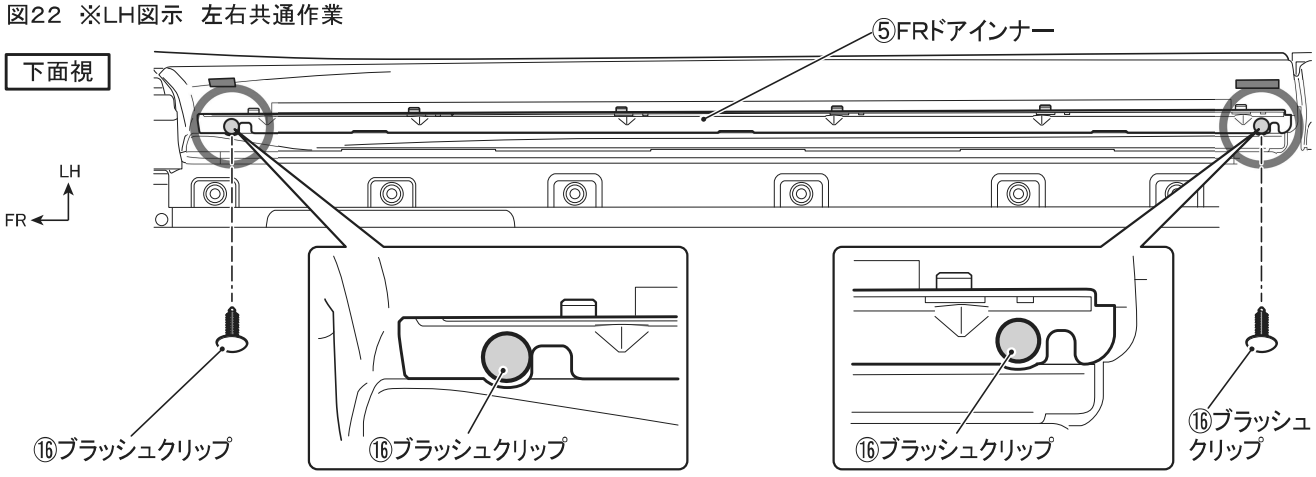
アドバイス：ドリルが入らない場合は、車両をリフトアップしてスペースを確保してください。

図21 ※LH図示 左右共通作業



11. 前手順であけた穴に⑯ブラッシュクリップを差し込み、⑤FRドアインナーを固定する。

図22 ※LH図示 左右共通作業

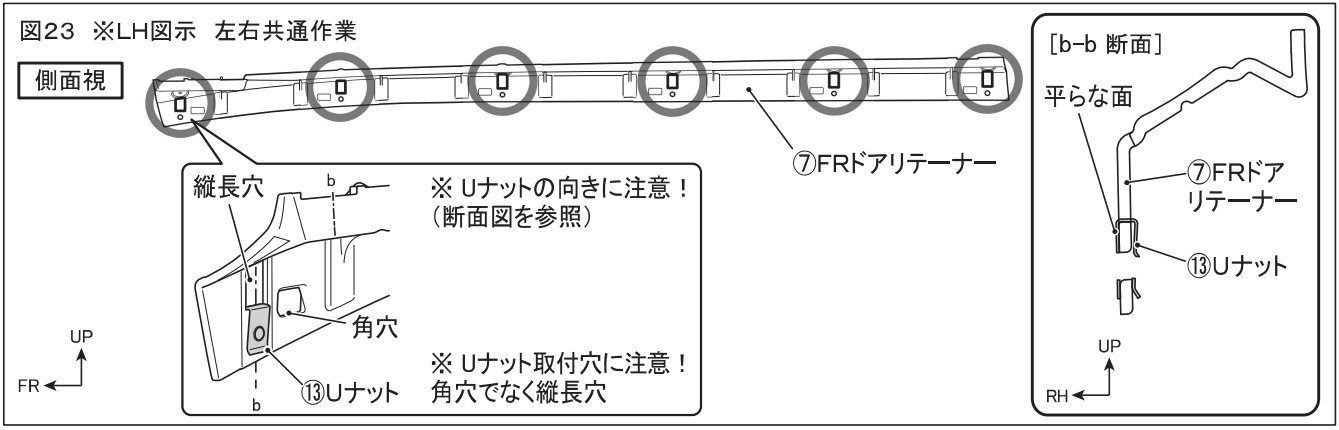


12. マスキングテープ、養生テープをすべて剥がす。

【FRドアリテーナーの取り付け】

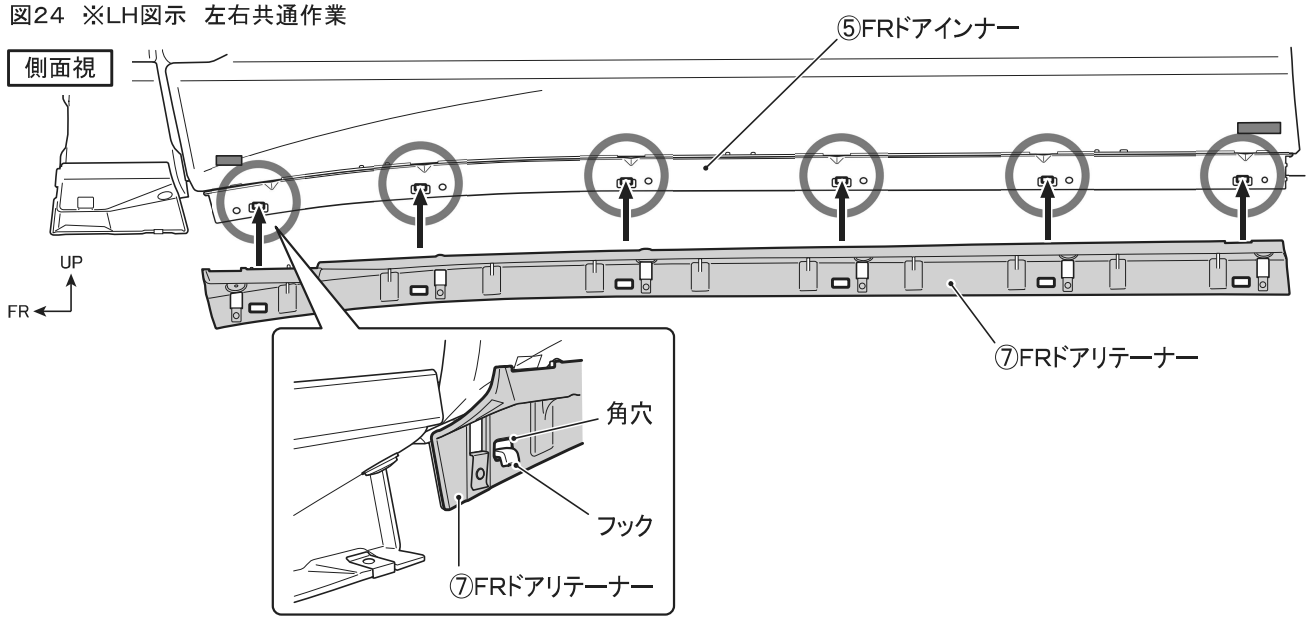
1. ⑦FRドアリテーナーの縦長穴（6箇所）に、⑬Uナットを取付ける。

図23 ※LH図示 左右共通作業



2. ⑦FRドアリテーナーの角穴(6箇所)に、⑤FRドアインナーのフック(6箇所)が入るようにかぶせる。

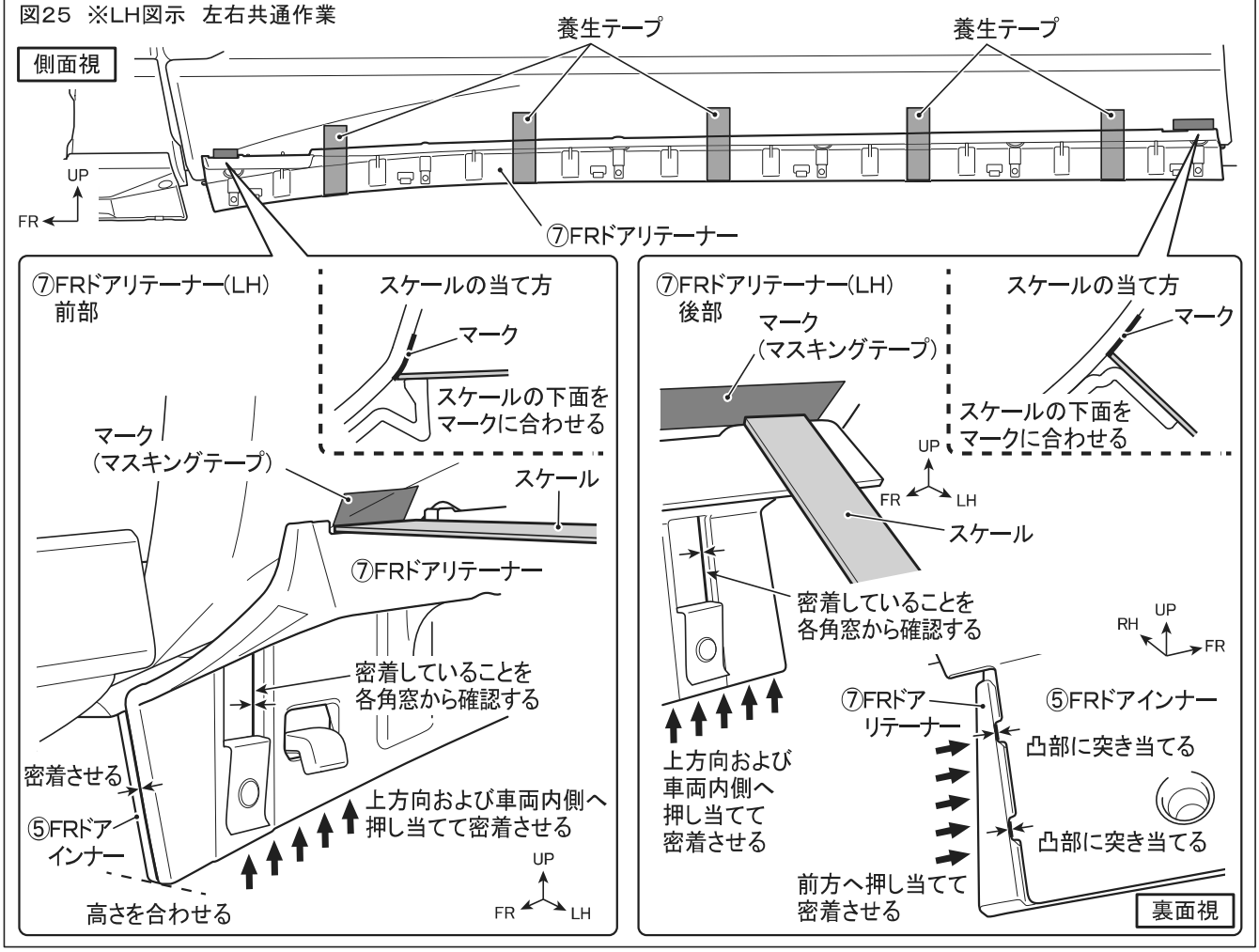
図24 ※LH図示 左右共通作業



3. ⑦FRドアリテーナーの後方の段差を図25の後部裏面視のように⑤FRドアインナーの凸部に突き当てながら密着させ、⑱型紙A・Bでマークしたマスキングテープに、スケールを図のようにリテーナーの面に当てて、高さ位置を合わせて養生テープで固定する。

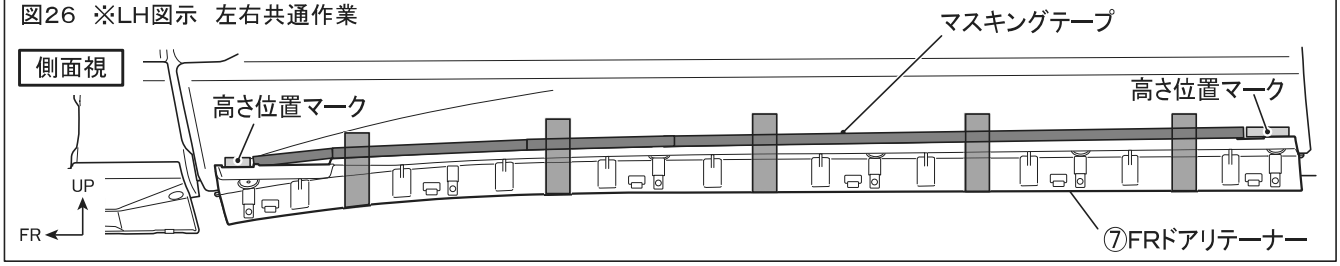
⚠注意: ⑦FRドアリテーナーの取付位置は、②FRドアアウター取付の基準になります。確実に位置出しを実施して取り付けてください。

図25 ※LH図示 左右共通作業



4. ⑦FRドアリテーナーの端末に合わせて、⑱型紙A・Bで貼ったマークに重ならないようにマスキングテープを貼る。

図26 ※LH図示 左右共通作業



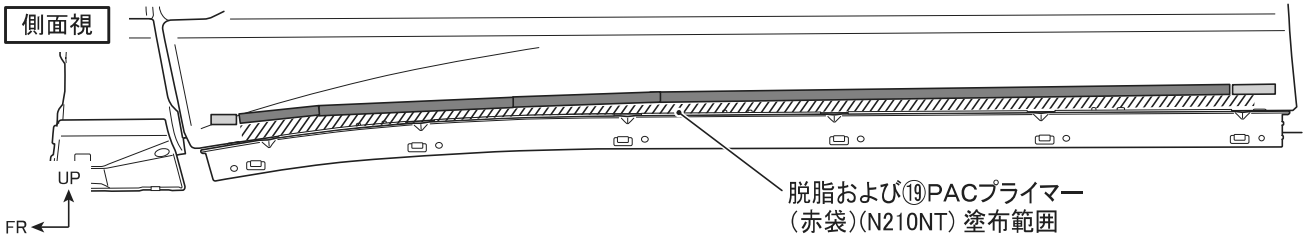
5. ⑦FRドアリテーナーを取り外し、図27の斜線部をイソプロピルアルコール（IPA）で一方向に拭いて脱脂し、⑲PACプライマー（赤袋）(N210NT) を塗布する。

⚠注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

⚠注意：脱脂作業を行う際は、換気に注意して火気を近づけないようにしてください。

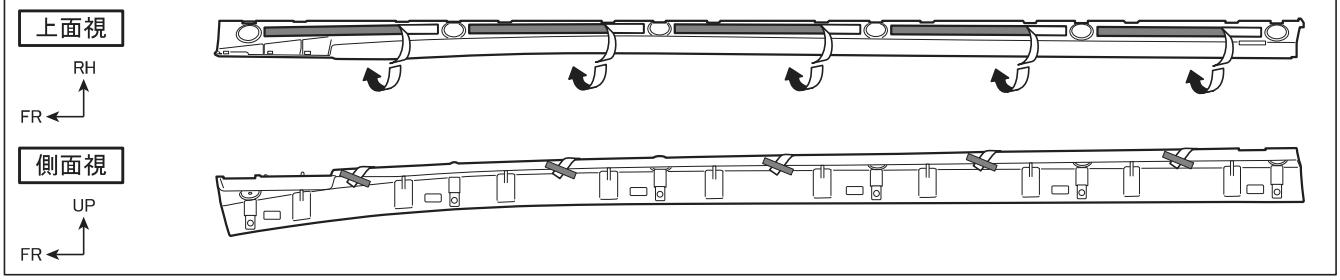
アドバイス：脱脂後は、十分に乾燥させてください。

図27 ※LH図示 左右共通作業



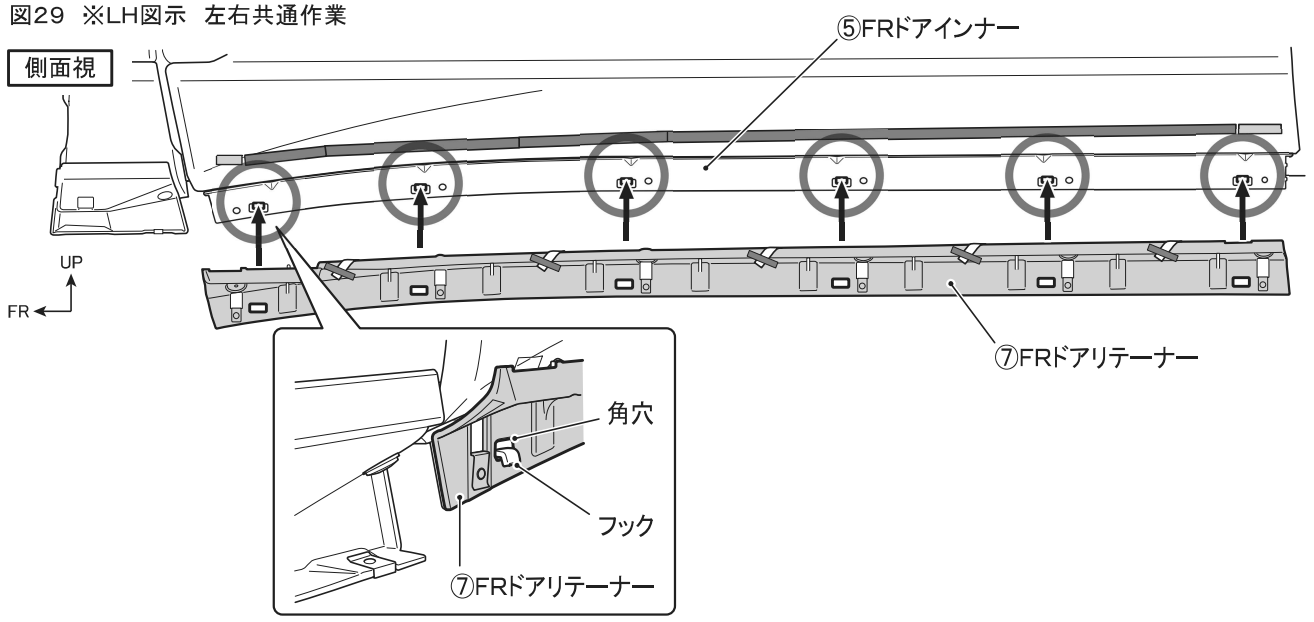
6. ⑦FRドアリテーナーの両面テープ離型紙の一部約30mmを剥がし、車両外方向に折り返して、マスキングテープで貼り付ける。

図28 ※LH図示 左右共通作業



7. ⑦FRドアリテーナーの角穴(6箇所)に、⑤FRドアインナーのフック(6箇所)が入るようにかぶせる。

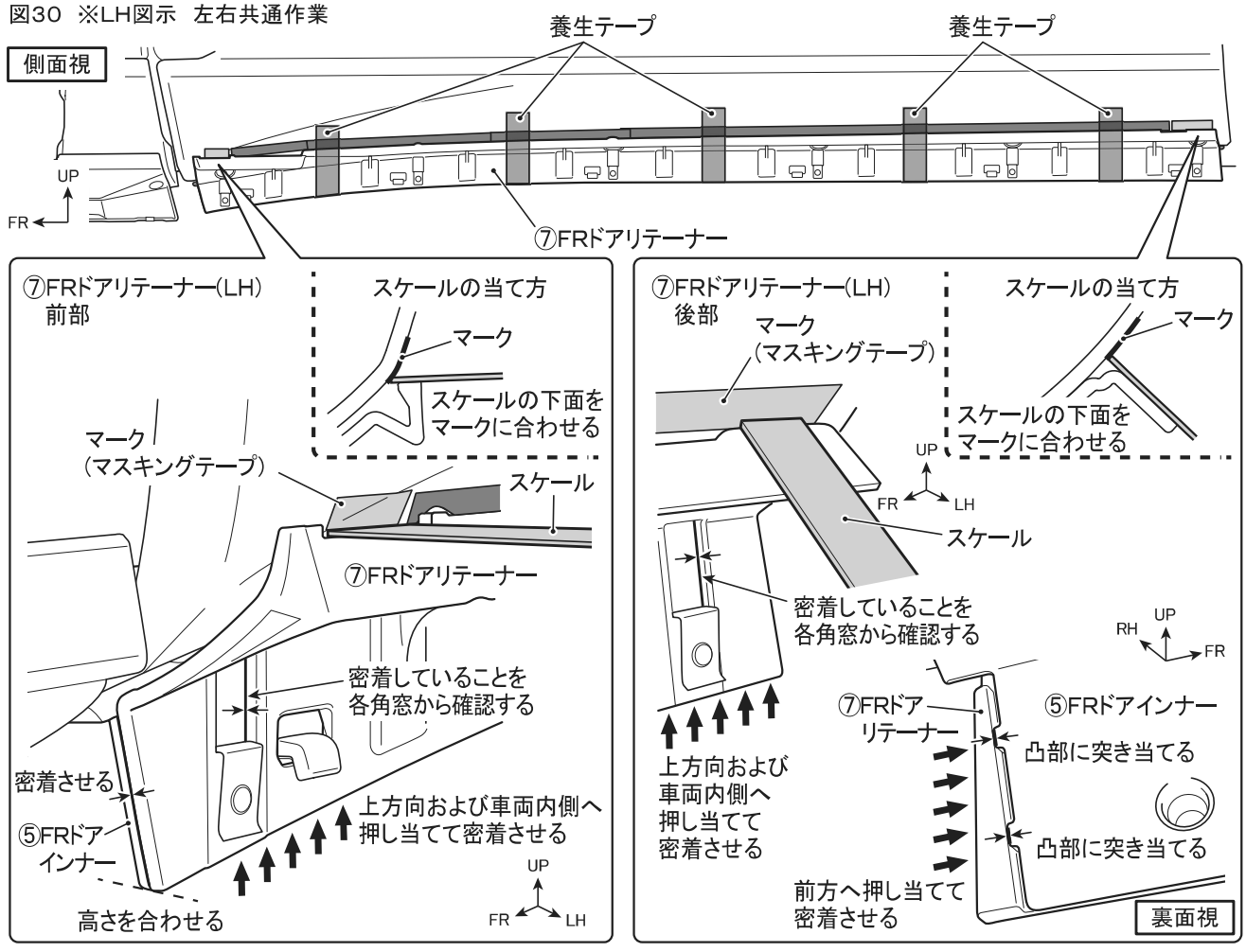
図29 ※LH図示 左右共通作業



8. ⑦FRドアリテーナーの後方の段差を図のように⑤FRドアインナーの凸部に突き当てながら密着させ、⑱型紙A・Bでマークしたマスキングテープに、スケールを図のようにリテーナーの面に当てて、高さ位置を合わせて養生テープで固定する。

⚠注意: ⑦FRドアリテーナーの取付位置は、②FRドアアウター取付の基準になります。確実に位置出しを実施して取り付けてください。

図30 ※LH図示 左右共通作業

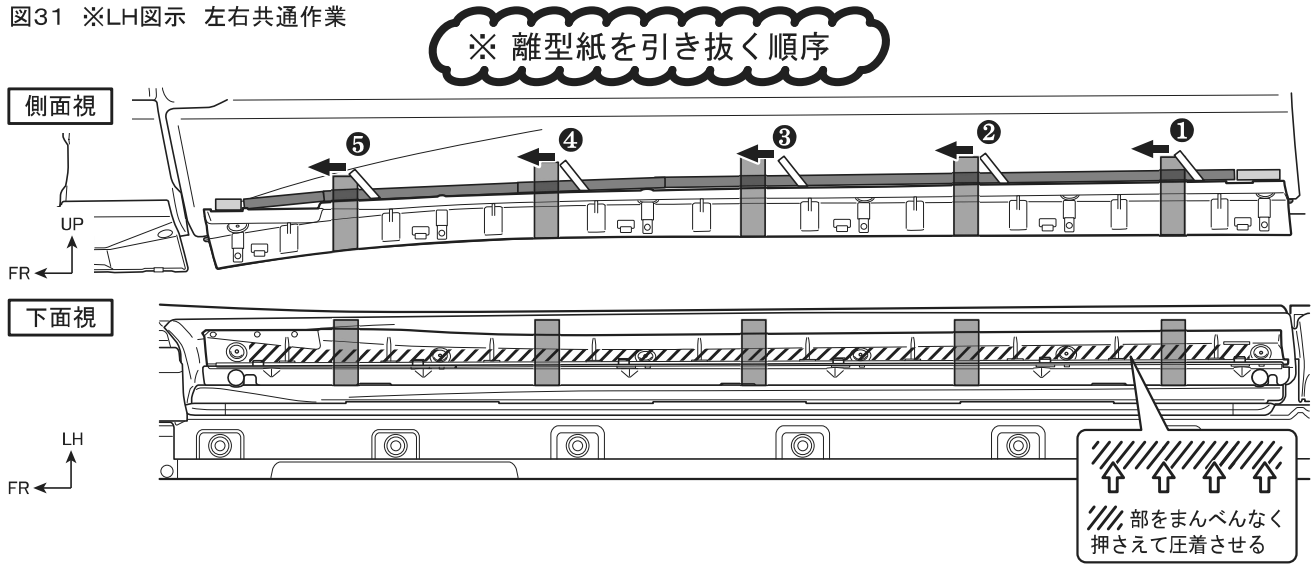


9. ⑦FRドアリテーナーの両面テープ離型紙を矢印の方向に引き抜き、⑦FRドアリテーナーを圧着する。

⚠注意：圧着の際は、取付位置がズレないよう注意して圧着してください。

アドバイス：
- 両面テープの貼り直しをすると、接着力が極端に低下します。意図しない箇所に付かないよう気を付けて作業をしてください。
- 両面テープの圧着は、49N（5kgf/cm2）程度の力で行なってください。

図31 ※LH図示 左右共通作業



10. ⑦FRドアリテーナーの〇凹部（6箇所）の位置に、φ3.0 → 本穴φ6.5 の順で貫通穴をあける。
穴あけ後、バリを除去し⑭スクリベットで固定する。（図32参照）

アドバイス：傷つき防止のため、ドリル尖端から約10mmの位置に、養生テープ等を巻いてください。

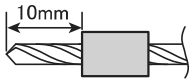
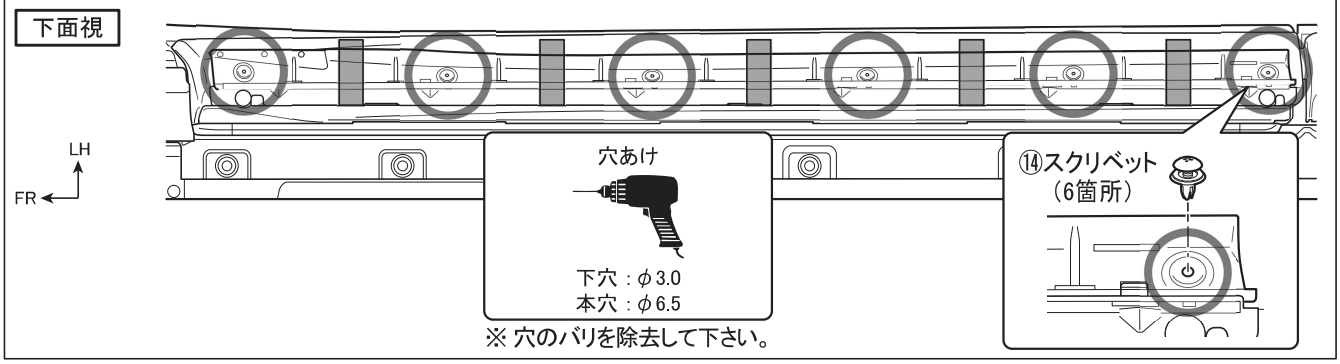


図32 ※LH図示 左右共通作業

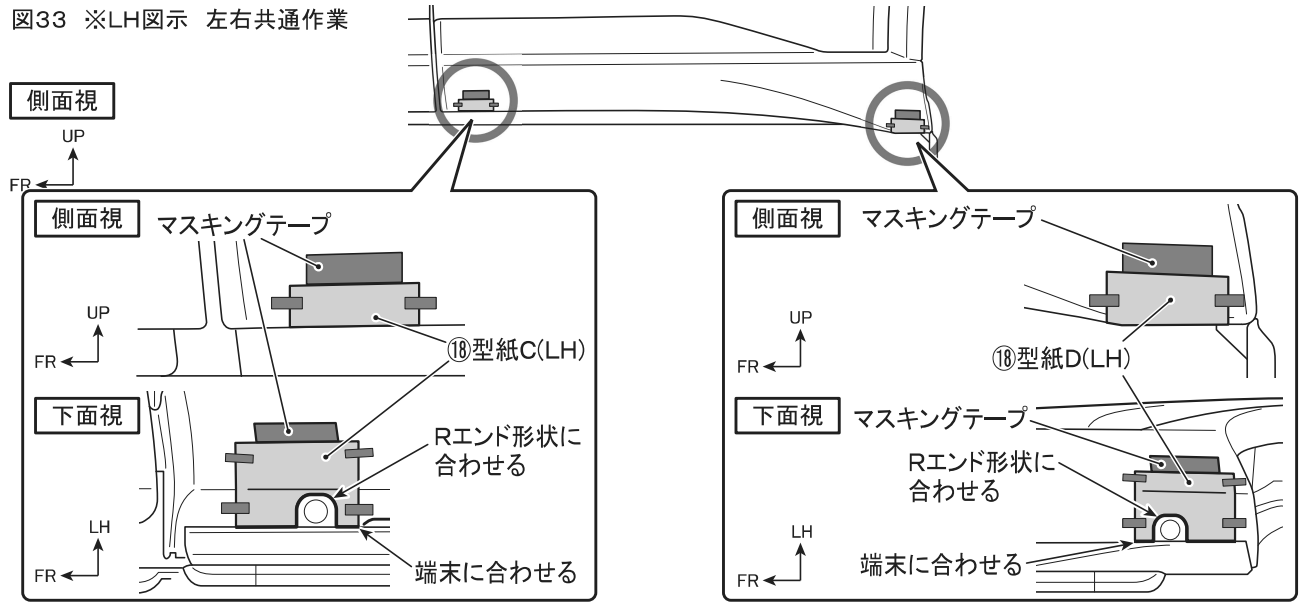


11. 養生テープをすべて剥がす。
※ マスキングテープは剥がさないでください。
②FRドアアウター取り付けの脱脂及びプライマー塗布の際に、保護として再度使用します。

【RRドアインナーの取り付け】

1. ⑱型紙C・D(LH)を切り抜き、車両RRドアの形状に合わせて貼り付ける。
⑧RRドアリテーナーの取付高さ位置をマスキングテープでマーキングして、⑱型紙C・D(LH)を剥がす。

図33 ※LH図示 左右共通作業



2. ⑥RRドアインナーの上部、D部凸・E部凸・F部凸を、車両RRドア部下面のD部穴・E部穴・F部穴に差し込む。

図34 ※LH図示 左右共通作業

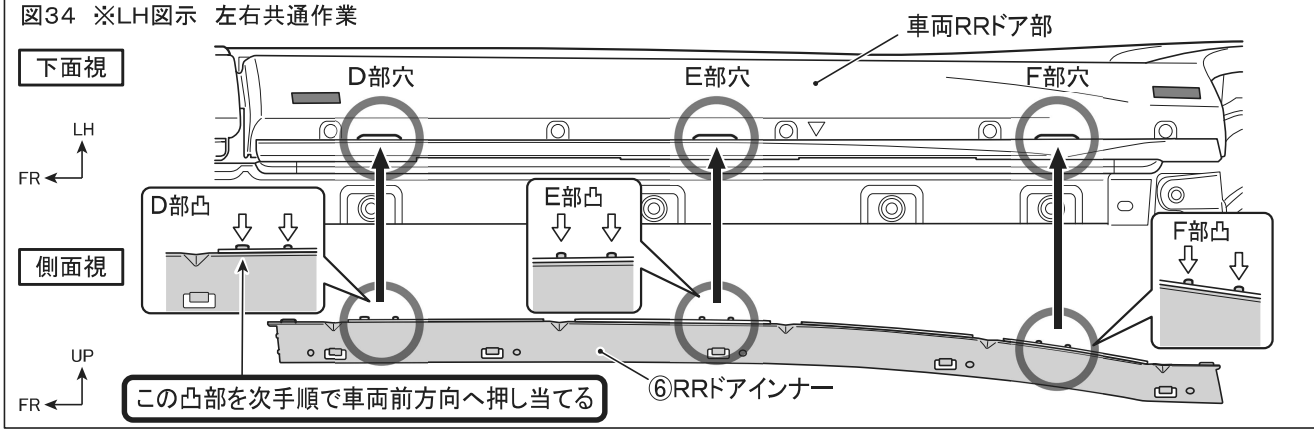
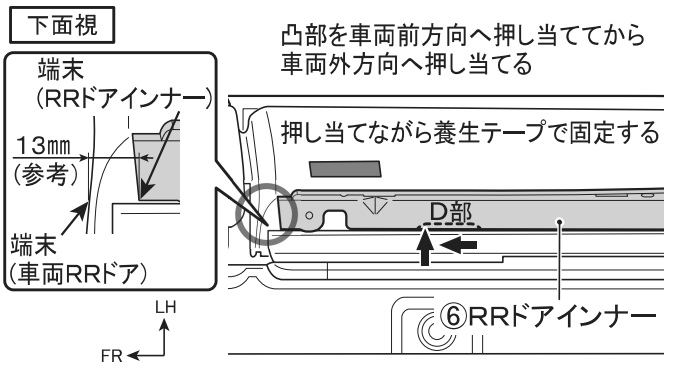
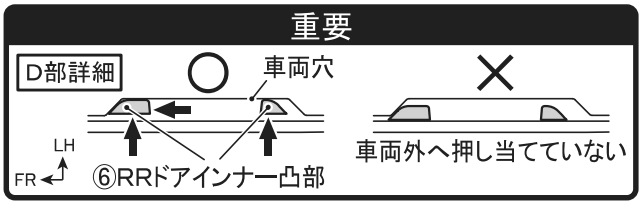
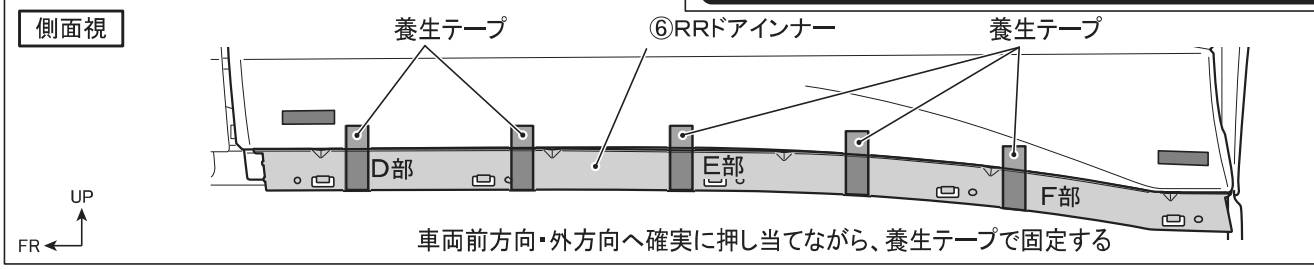


図35 ※LH図示 左右共通作業



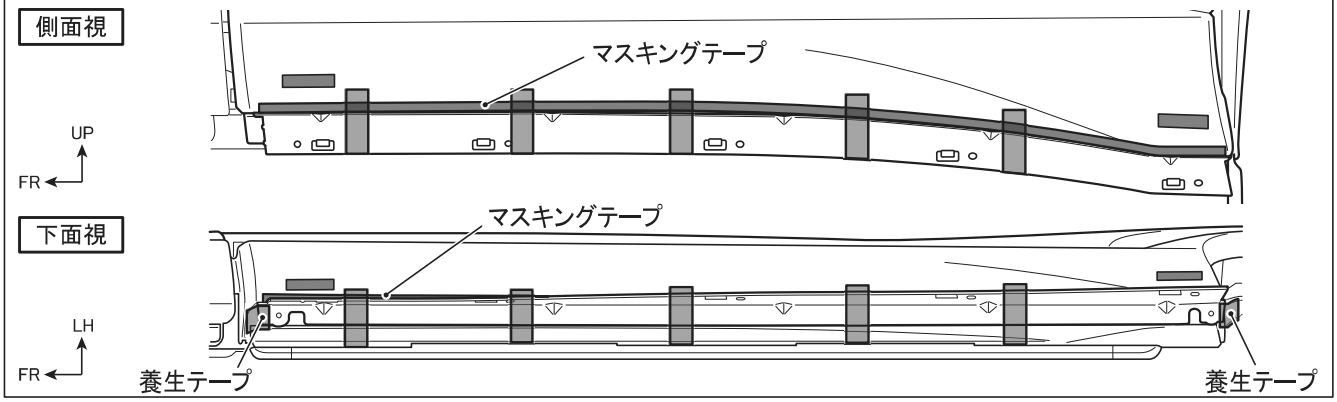
3. 前手順でD部穴に差し込んだ⑥RRドアインナーのD部凸部を、車両前方向および車両外方向へ確実に押し当て、端末の寸法が13㎜(参考)である事を確認して⑥RRドアインナーの前端とD部付近を養生テープで固定する。続いてE部、F部の順に凸部を車両外方向へ押し当てながら、養生テープで固定していく。





4. ⑥RRドアインナーの端末に合わせてマスキングテープを貼る。

図36 ※LH図示 左右共通作業



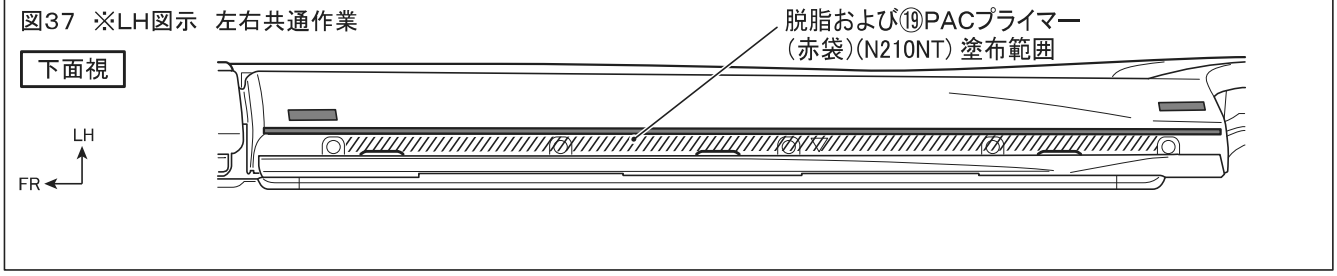
5. ⑥RRドアインナーを取り外し、図37の斜線部をイソプロピルアルコール（IPA）で一方向に拭いて脱脂し、⑲PACプライマー（赤袋）(N210NT) を塗布する。

⚠注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

⚠注意：脱脂作業を行う際は、換気に注意して火気を近づけないようにしてください。

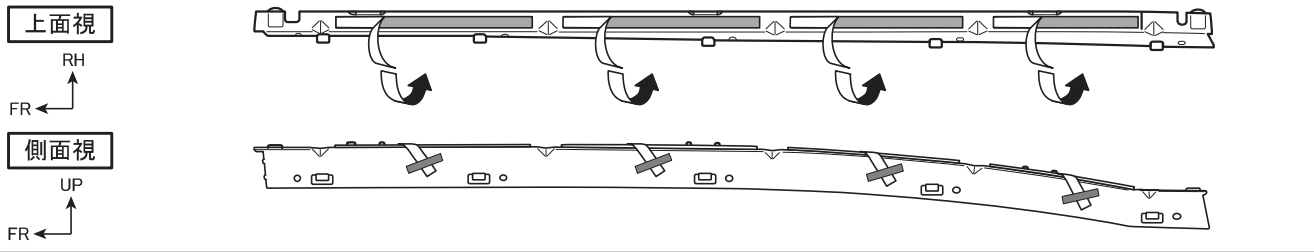
アドバイス：脱脂後は、十分に乾燥させてください。

図37 ※LH図示 左右共通作業



6. ⑥RRドアインナー両面テープ離型紙の一部約30mmを剥がし、車両外方向に折り返し、マスキングテープで貼り付ける。

図38 ※LH図示 左右共通作業



7. ⑥RRドアインナーの上部、D部凸・E部凸・F部凸を、車両RRドア部下面のD部穴・E部穴・F部穴に差し込む。

図39 ※LH図示 左右共通作業

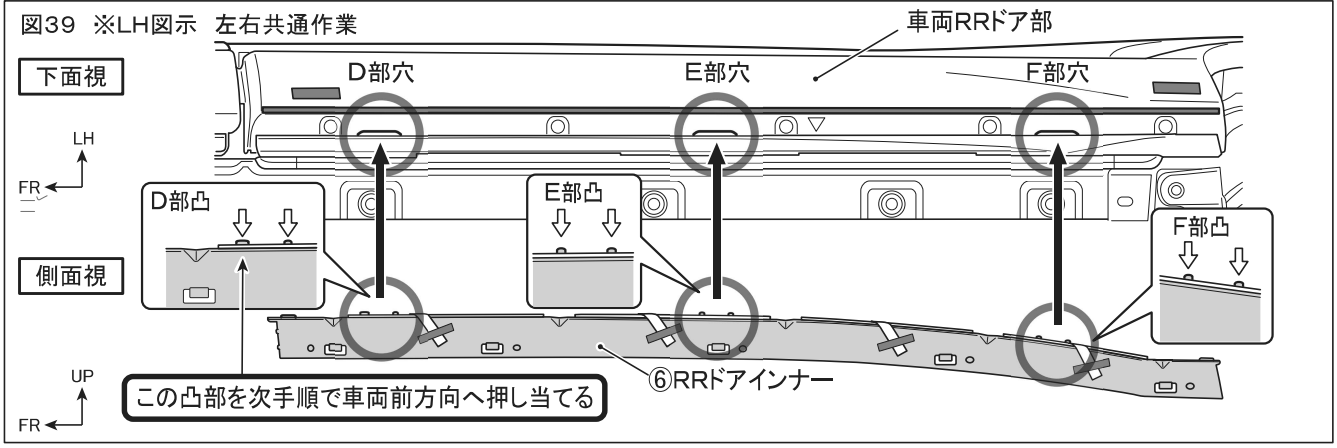
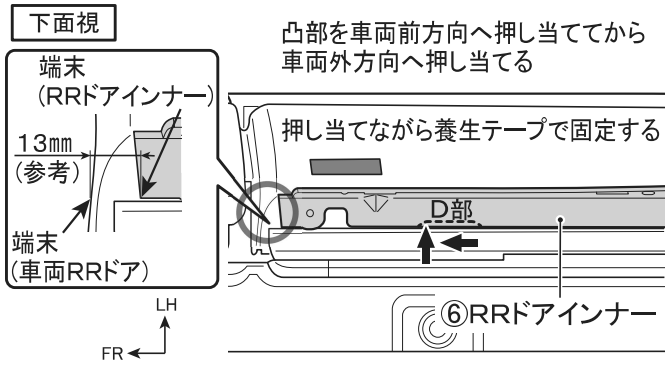


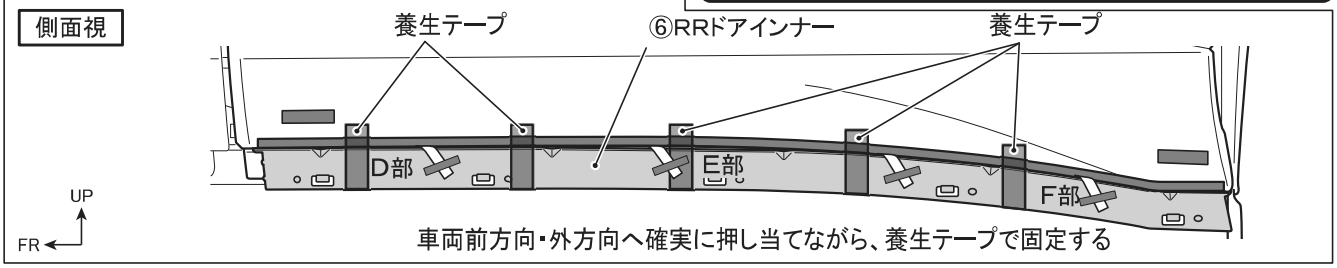
図40 ※LH図示 左右共通作業



8. 前手順でD部穴に差し込んだ⑥RRドアインナーのD部凸部を、車両前方向および車両外方向へ確実に押し当て、端末の寸法が13㎜(参考)である事を確認して⑥RRドアインナーの前端とD部付近を養生テープで固定する。続いてE部、F部の順に凸部を車両外方向へ押し当てながら、養生テープで固定していく。

重要



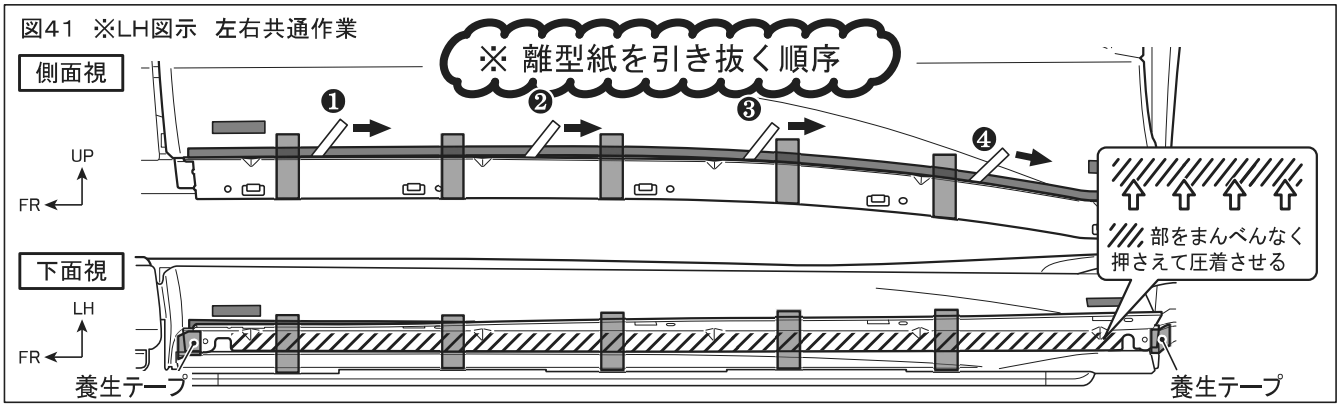


9. ⑥RRドアインナーの両面テープ離型紙を矢印の方向に引き抜き、⑥RRドアインナーを圧着する。

⚠注意:圧着の際は、取付位置がズレないよう注意して圧着してください。

アドバイス: • 両面テープの貼り直しをすると、接着力が極端に低下します。意図しない箇所に付かないよう気を付けて作業をしてください。
• 両面テープの圧着は、49N (5kgf/cm2) 程度の力で行なってください。

図41 ※LH図示 左右共通作業



10. ⑥RRドアインナーの〇凹部(2箇所)の位置に、φ3.0 → 本穴φ5.0 の順で貫通穴をあける。(図42参照)
穴あけ後、バリを除去する。

アドバイス: 傷つき防止のため、ドリル尖端から約10mmの位置に、養生テープ等を巻いてください。

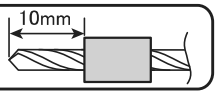
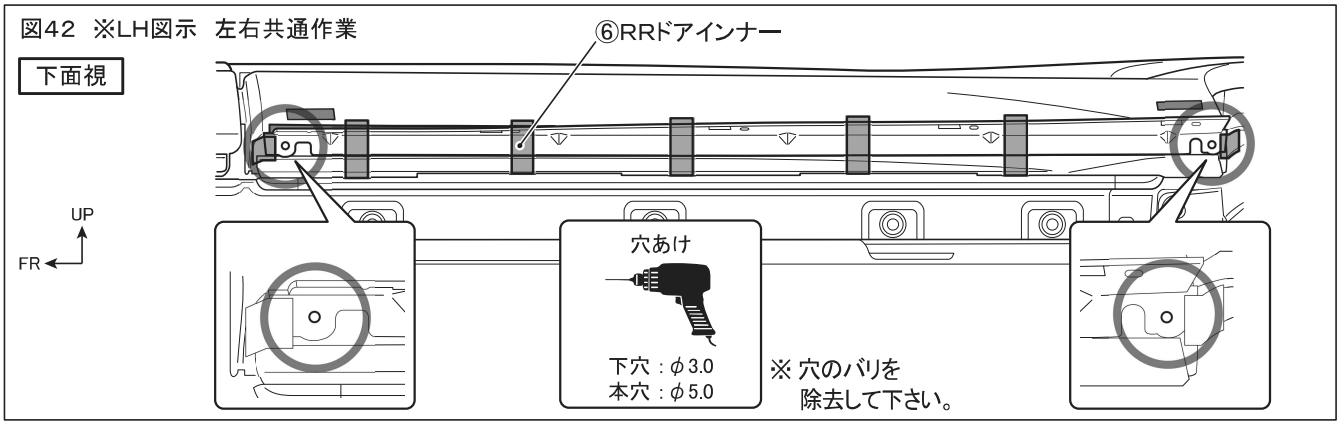
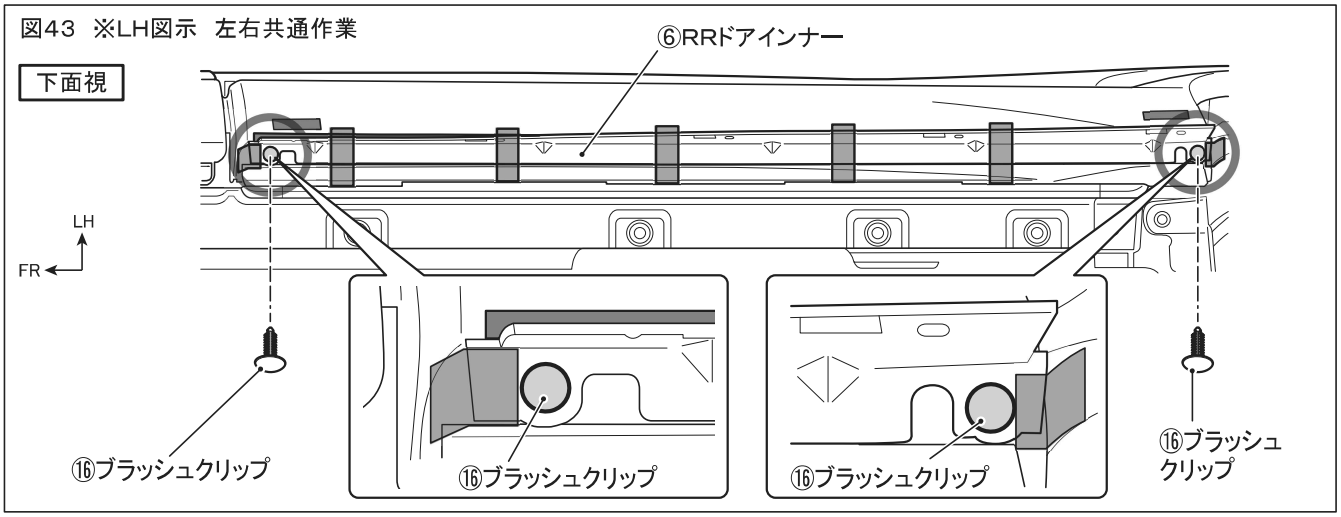


図42 ※LH図示 左右共通作業



11. 前手順であけた穴に⑯ブラッシュクリップを差し込み、⑥RRドアインナーを固定する。

図43 ※LH図示 左右共通作業

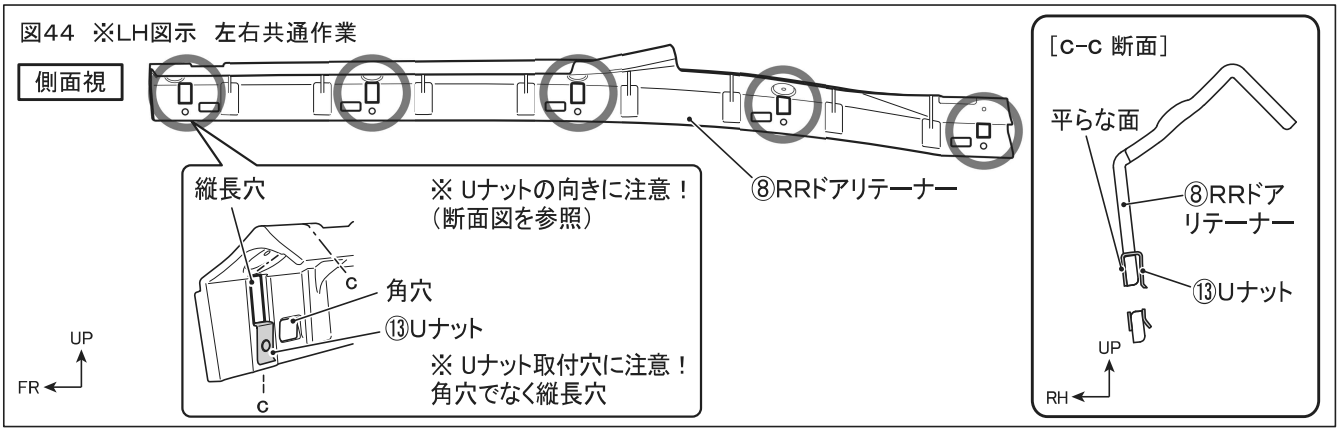


12. マスキングテープ、養生テープをすべて剥がす。

【RRドアリテーナーの取り付け】

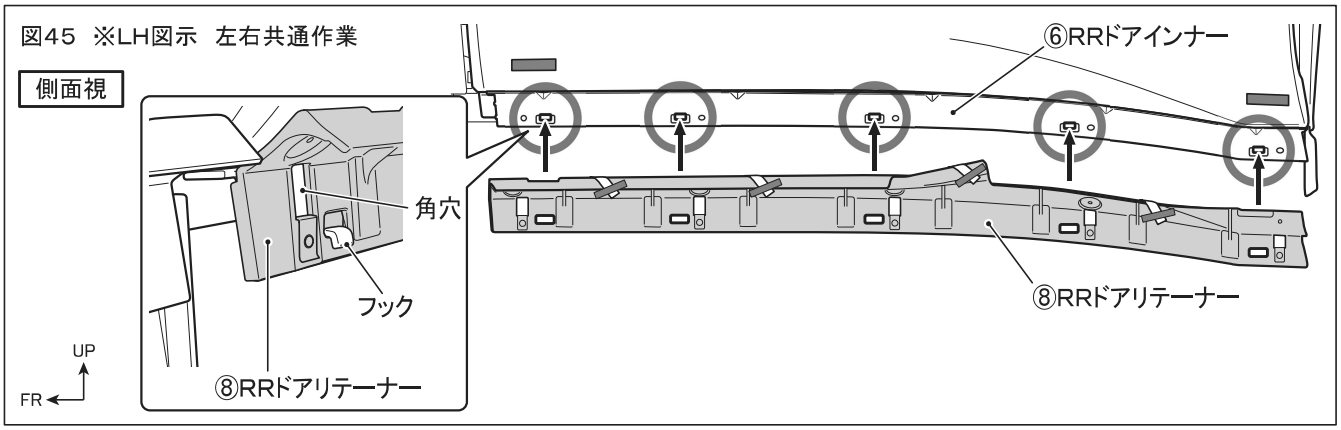
1. ⑧RRドアリテーナーの縦長穴（5箇所）に、⑬Uナットを取付ける。

図44 ※LH図示 左右共通作業



2. ⑧RRドアリテーナーの角穴（5箇所）に、⑥RRドアインナーのフック（5箇所）が入るようにかぶせる。

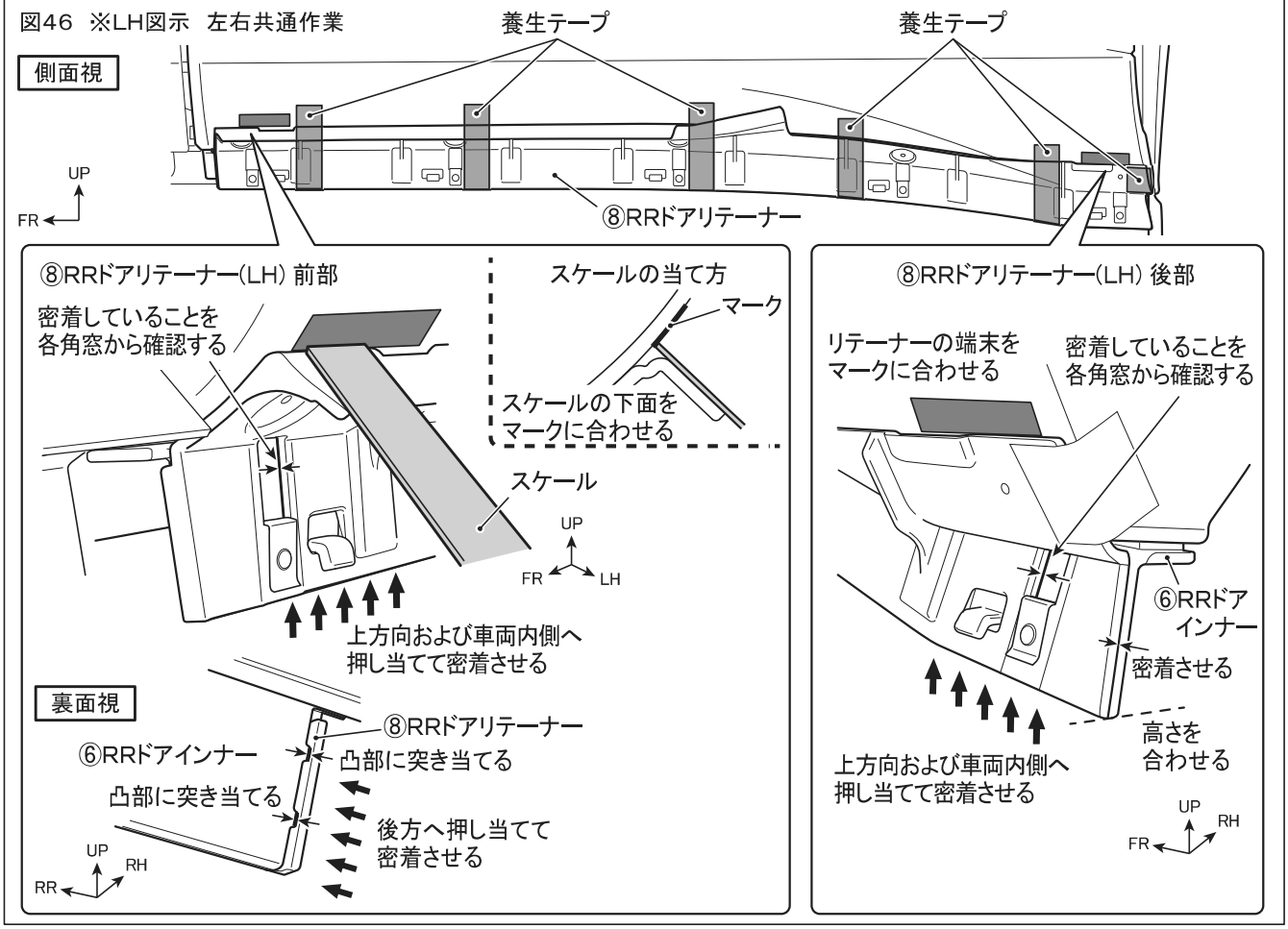
図45 ※LH図示 左右共通作業



3. ⑧RRドアリテーナーの前方の段差を図のように⑥RRドアインナーの凸部に突き当てながら密着させ、前側を⑱型紙Cでマークしたマスキングテープに、スケールを図のようにリテーナーの面に当てて高さ位置を合わせ、後側を⑱型紙Dでマークしたマスキングテープに高さ位置を合わせて養生テープで固定する。

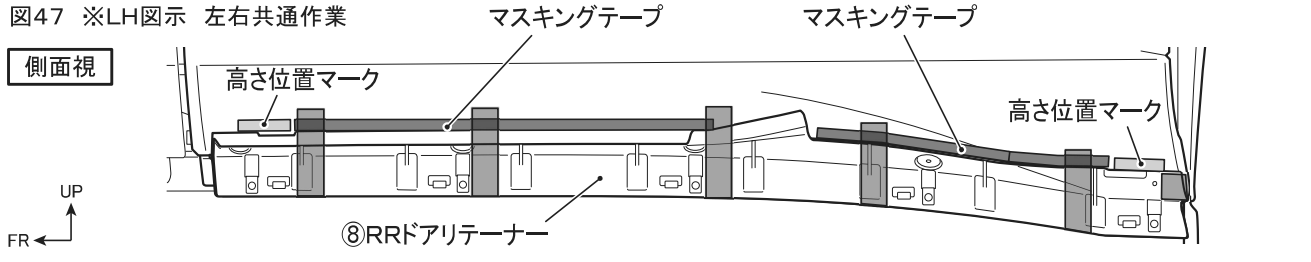
⚠注意：⑧RRドアリテーナーの取付位置は、③RRドアアウター取付の基準になります。確実に位置出しを実施して取り付けてください。

図46 ※LH図示 左右共通作業



4. ⑧RRドアリテーナーの端末に合わせて、⑱型紙C・Dで貼ったマークに重ならないようにマスキングテープを貼る。

図47 ※LH図示 左右共通作業



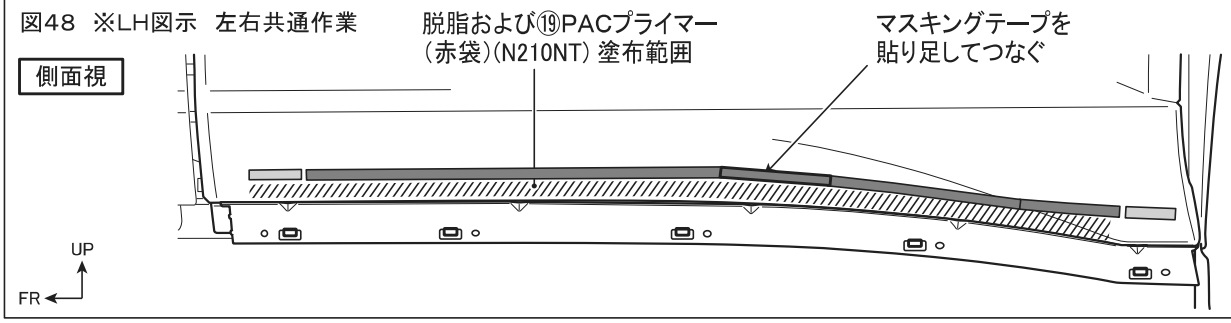
5. ⑧RRドアリテーナーを取り外し、マスキングテープを追加して前半部と後半部をつなぎ、図48の斜線部をイソプロピルアルコール(IPA)で一方向に拭いて脱脂し、⑲PACプライマー(赤袋)(N210NT)を塗布する。

⚠注意: 脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

⚠注意: 脱脂作業を行う際は、換気に注意して火気を近づけないようにしてください。

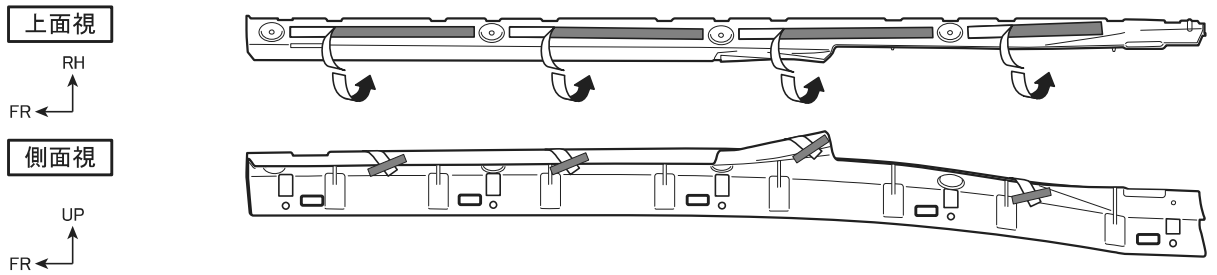
アドバイス: 脱脂後は、十分に乾燥させてください。

図48 ※LH図示 左右共通作業



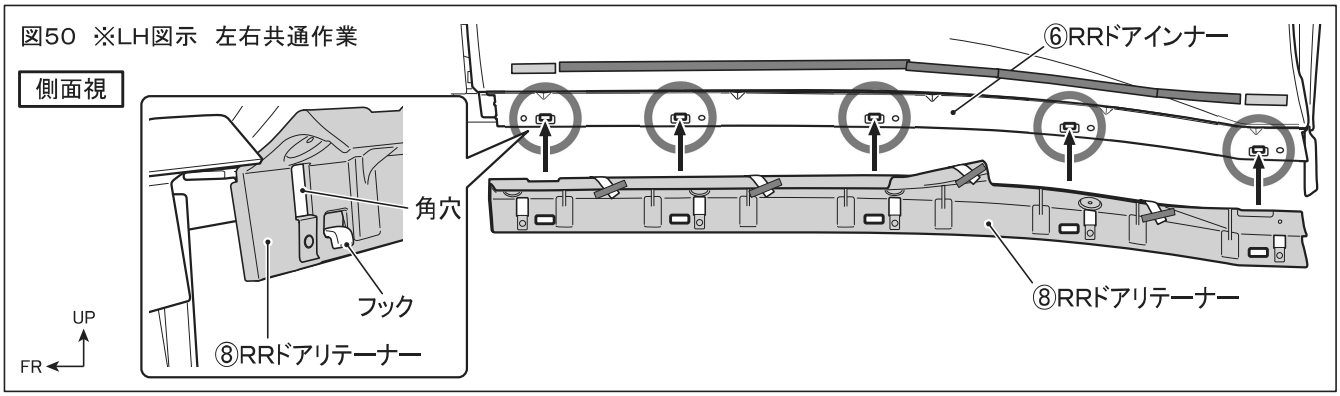
6. ⑧RRドアリテーナーの両面テープ離型紙の一部約30mmを剥がし、車両外方向に折り返して、マスキングテープで貼り付ける。

図49 ※LH図示 左右共通作業



7. ⑧RRドアリテーナーの角穴(5箇所)に、⑥RRドアインナーのフック(5箇所)が入るようにかぶせる。

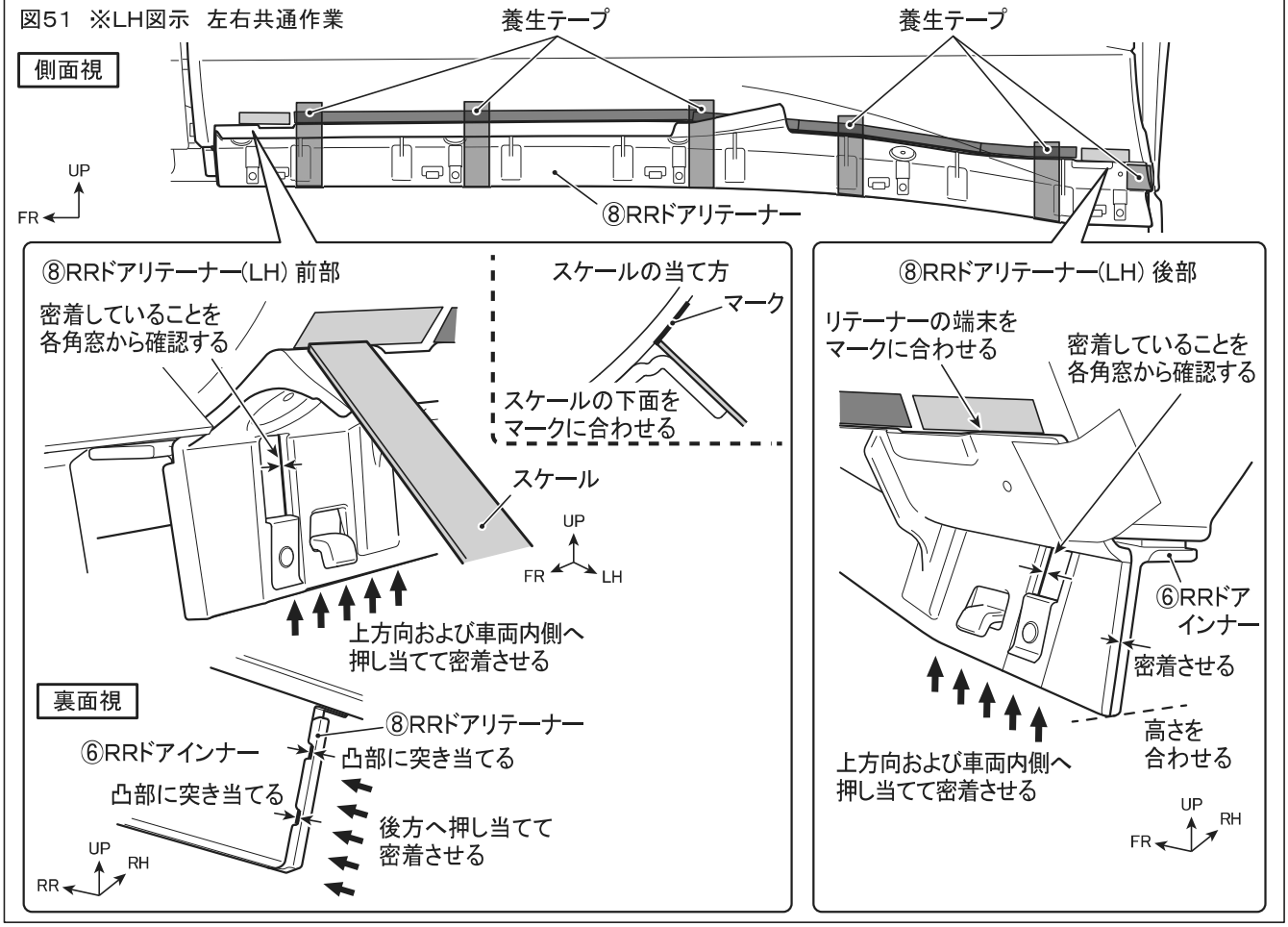
図50 ※LH図示 左右共通作業



8. ⑧RRドアリテーナーの前方の段差を図51の前部裏面視のように⑥RRドアインナーの凸部に突き当てながら密着させ、前側を⑱型紙Cでマークしたマスキングテープに、スケールを図のようにリテーナーの面に当てて高さ位置を合わせ、後側を⑱型紙Dでマークしたマスキングテープに高さ位置を合わせて養生テープで固定する。

⚠注意：⑧RRドアリテーナーの取付位置は、③RRドアアウター取付の基準になります。確実に位置出しを実施して取り付けてください。

図51 ※LH図示 左右共通作業

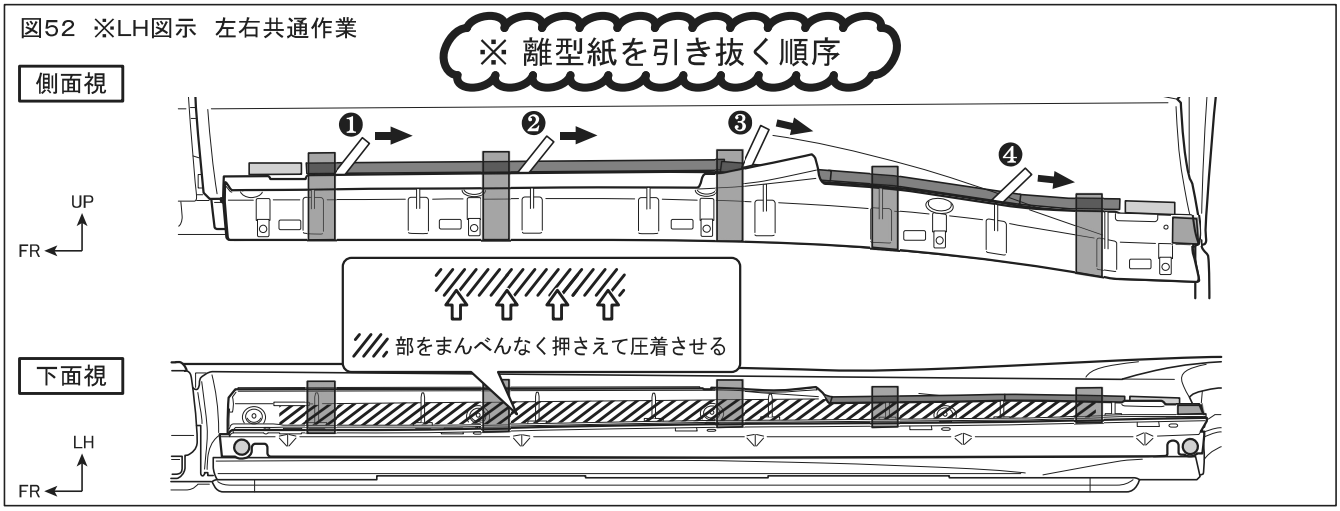


9. ⑧RRドアリテーナーの両面テープ離型紙を矢印の方向に引き抜き、⑧RRドアリテーナーを圧着する。

⚠注意：圧着の際は、取付位置がズレないよう注意して圧着してください。

アドバイス：
- 両面テープの貼り直しをすると、接着力が極端に低下します。意図しない箇所に付かないよう気を付けて作業をしてください。
- 両面テープの圧着は、49N (5kgf/cm2) 程度の力で行なってください。

図52 ※LH図示 左右共通作業



10. ⑧RRドアリテーナーの〇凹部（5箇所）の位置に、φ3.0 → 本穴φ6.5 の順で貫通穴をあける。
穴あけ後、バリを除去し⑭スクリベットで固定する。（図53参照）

アドバイス：傷つき防止のため、ドリル尖端から約10mmの位置に、養生テープ等を巻いてください。

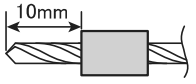
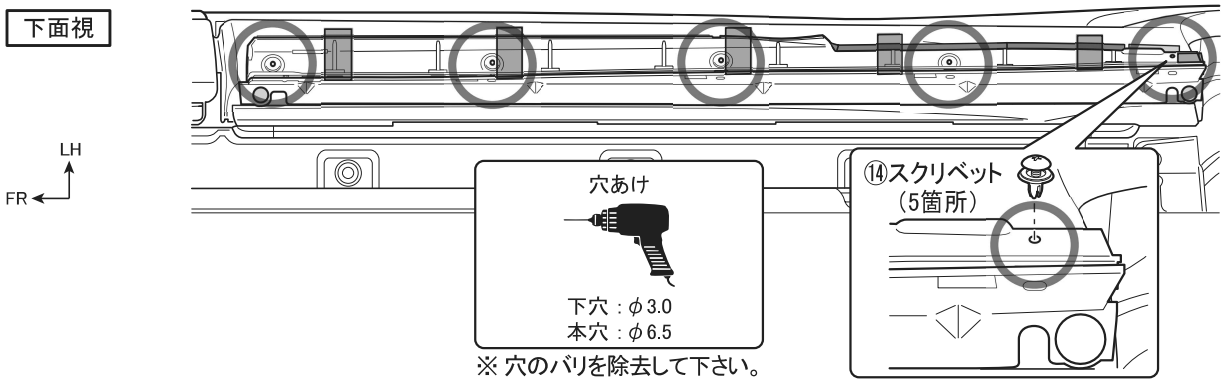


図53 ※LH図示 左右共通作業



11. 養生テープをすべて剥がす。
※ マスキングテープは剥がさないでください。
③RRドアアウター取り付けの脱脂及びプライマー塗布の際に、保護として再度使用します。

□ サイドスカート取付要領

【FRフェンダーアウターの取り付け】

1. ①FRフェンダーアウターを④FRフェンダーインナーに被せる。

図54 ※LH図示 左右共通作業

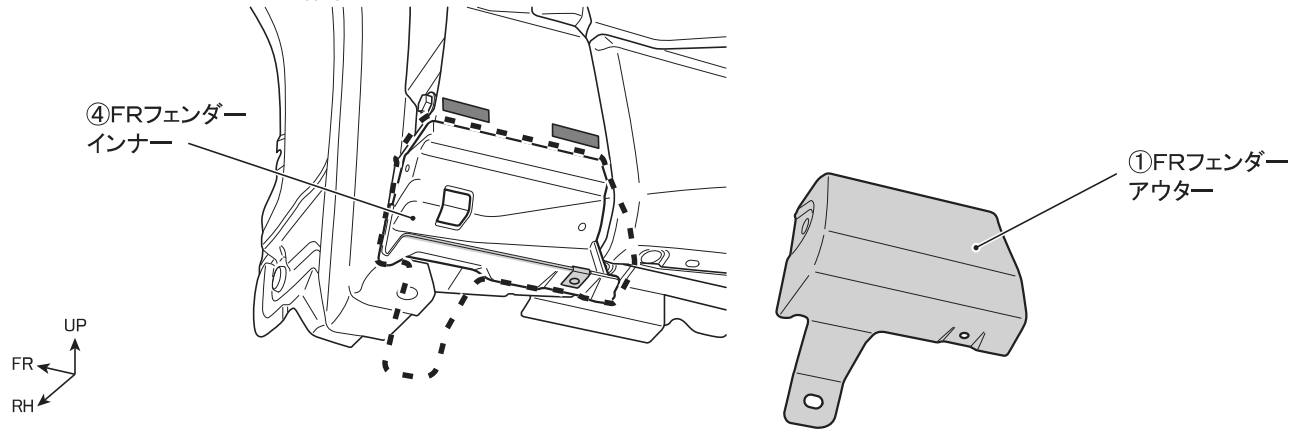
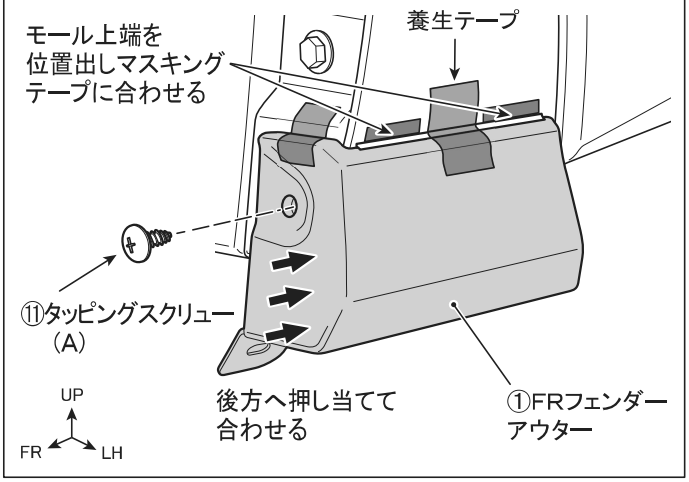


図55 ※LH図示 左右共通作業

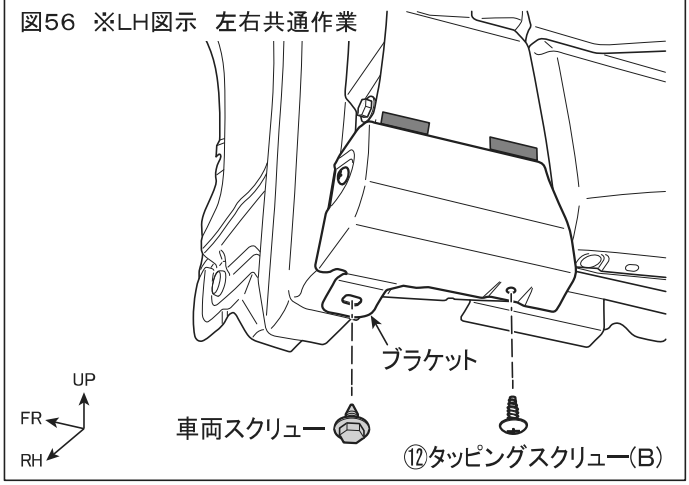


2. ①FRフェンダーアウターを車両後方へ押し当てて合わせる。

モール上端を、取り付け高さ位置出しのマスキングテープに合わせ、養生テープで固定する。

ホイールハウス側穴を⑪タッピングスクリュー（A）で仮締めする。

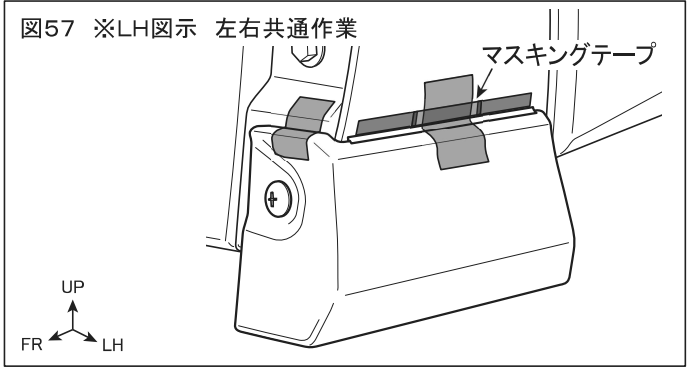
図56 ※LH図示 左右共通作業



3. ①FRフェンダーアウター下面のブラケットを、車両FRホイールハウス部下面へ折り曲げ、取り外した車両スクリューで仮締めする。

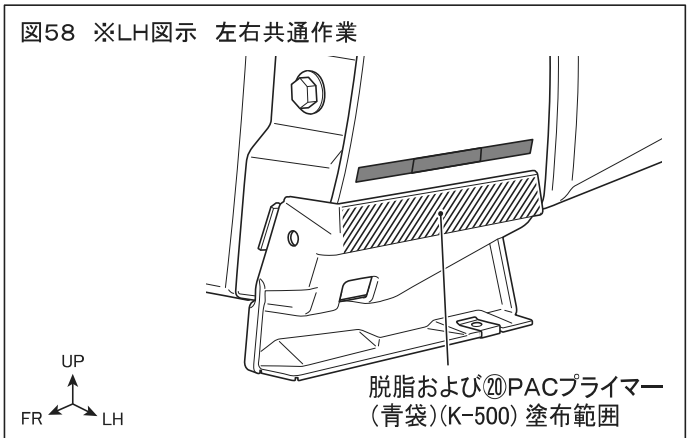
   ①FRフェンダーアウター下面の穴を、⑫タッピングスクリュー(B)で仮締めする。

図57 ※LH図示 左右共通作業



4. ①FRフェンダーアウターの上端末に合わせてマスキングテープを貼る。

図58 ※LH図示 左右共通作業



5. ①FRフェンダーアウターを取り外し、図58の斜線部を、イソプロピルアルコール(IPA)で一方向に拭いて脱脂し、⑳PACプライマー(青袋)(K-500)を塗布する。

⚠注意:脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

⚠注意:脱脂作業を行う際は、換気に注意して火気を近づけないようにしてください。

アドバイス:脱脂後は、十分に乾燥させてください。

6. 塗布後、マスキングテープを剥がす。※ 取付高さ位置出しのマスキングテープは剥がさないでください。
7. ④FRフェンダーインナーの両面テープ離型紙の一部約30mmを剥がし、表側に折り返して、マスキングテープで貼り付ける。

図59 ※LH図示 左右共通作業

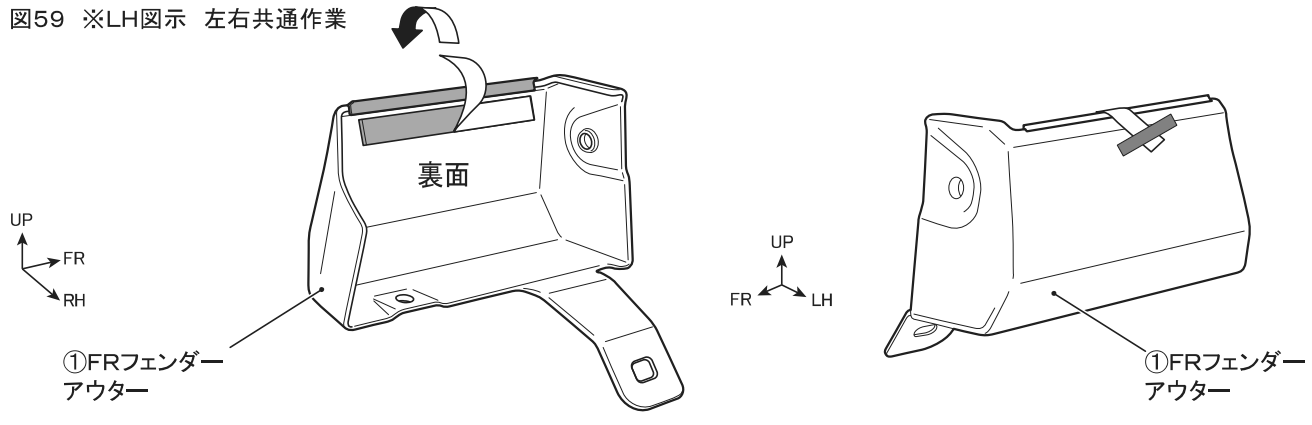
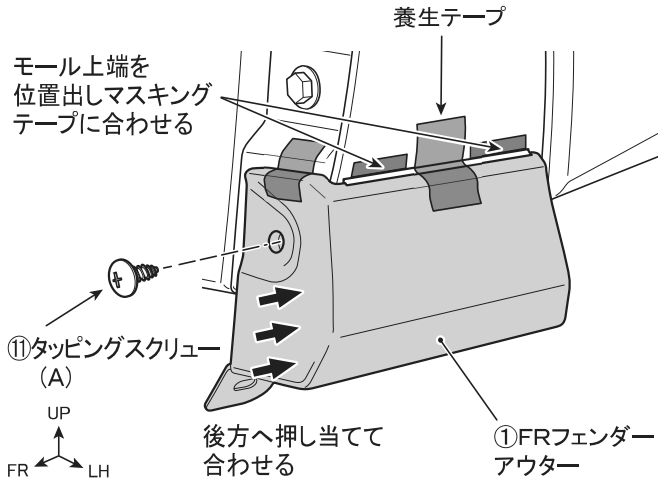


図60 ※LH図示 左右共通作業

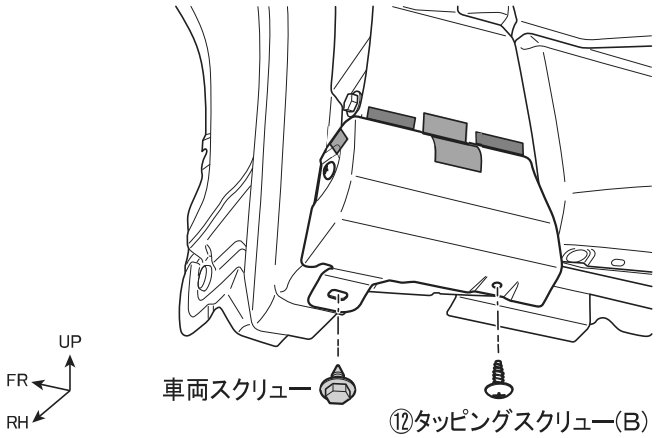


8. ①FRフェンダーアウターを④FRフェンダーインナーに被せ、車両後方へ押し当てて合わせる。

   モール上端を、取り付け高さ位置出しのマスキングテープに合わせ、養生テープで固定する。

   ホイールハウス側穴を⑪タッピングスクリュー(A)で仮締めする。

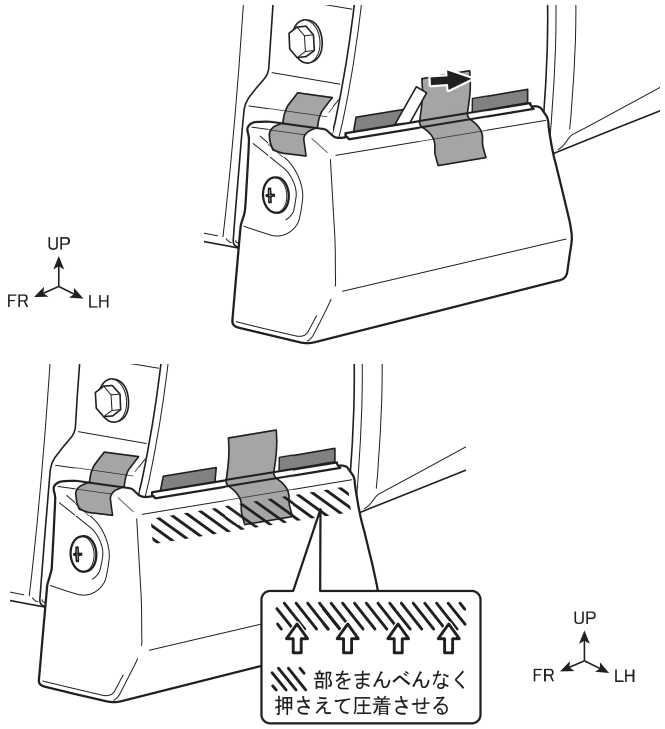
図61 ※LH図示 左右共通作業



9. ①FRフェンダーアウター下面のブラケットを、車両FRホイールハウス部下面へ折り曲げ、取り外した車両スクリューで仮締めする。

   ①FRフェンダーアウター下面の穴を、⑫タッピングスクリュー(B)で仮締めする。

図62 ※LH図示 左右共通作業



10. ①FRフェンダーアウターの両面テープ離型紙を矢印の方向に引き抜き、①FRフェンダーアウターを圧着する。

> ⚠注意：圧着の際は、取付位置がズレないよう注意して圧着してください。

> アドバイス：
> - 両面テープの貼り直しをすると、接着力が極端に低下します。意図しない箇所に付かない様に気を付けて作業をしてください。
> - 両面テープの圧着は、49N (5kgf/cm2) 程度の力で行なってください。

11. マスキングテープ、養生テープをすべて剥がす。

【FRドアアウターの取り付け】

1. ⑦FRドアリテーナー上面の前部に、⑰位置出しゲージ(L1)を差し込む。
⑦FRドアリテーナー上面の後部に、⑰位置出しゲージ(L2)を差し込み、車両後方向へ押し当てる。

図63 ※LH図示 左右共通作業

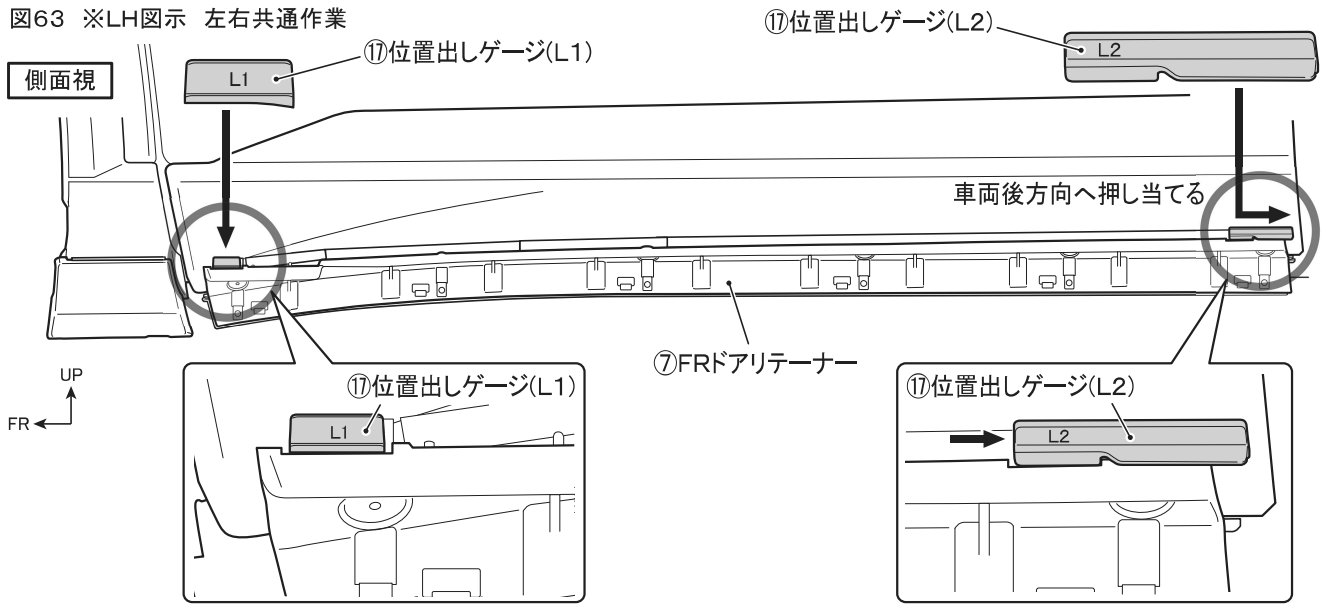
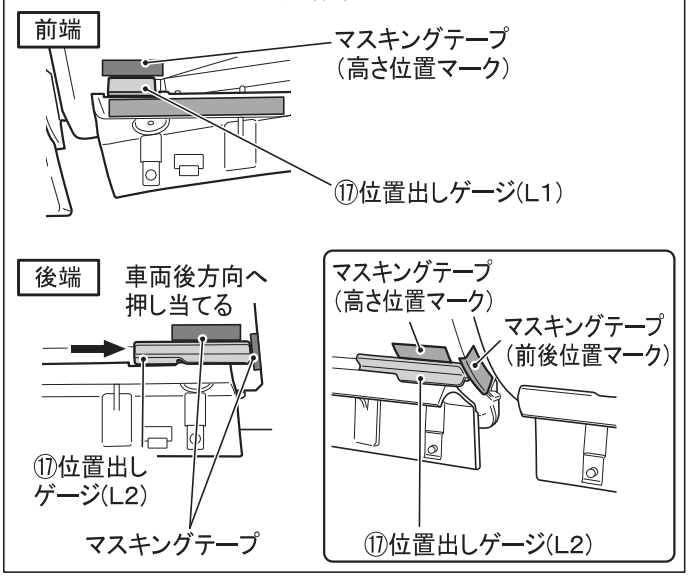


図64 ※LH図示 左右共通作業

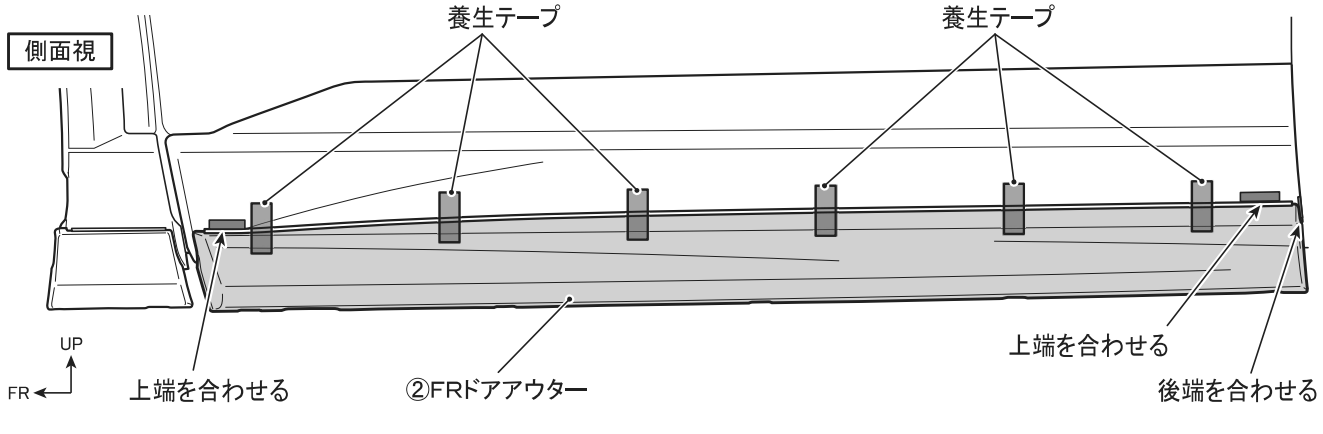


2. ⑰位置出しゲージ(L1)の上端に②FRドアアウター取り付け高さ位置出しのマスキングテープを貼る。
マスキングテープ貼付後、⑰位置出しゲージ(L1)を取り外す。

⑰位置出しゲージ(L2)を車両後方向へ押し当て、上端に取り付け高さ位置出しのマスキングテープを、後端に取り付け前後方向位置出しのマスキングテープを貼る。
マスキングテープ貼付後、⑰位置出しゲージ(L2)を取り外す。

3. ②FRドアアウターを、⑦FRドアリテーナーに被せ、後端とモール上端を位置出しテープに合わせ、養生テープで固定する。

図65 ※LH図示 左右共通作業



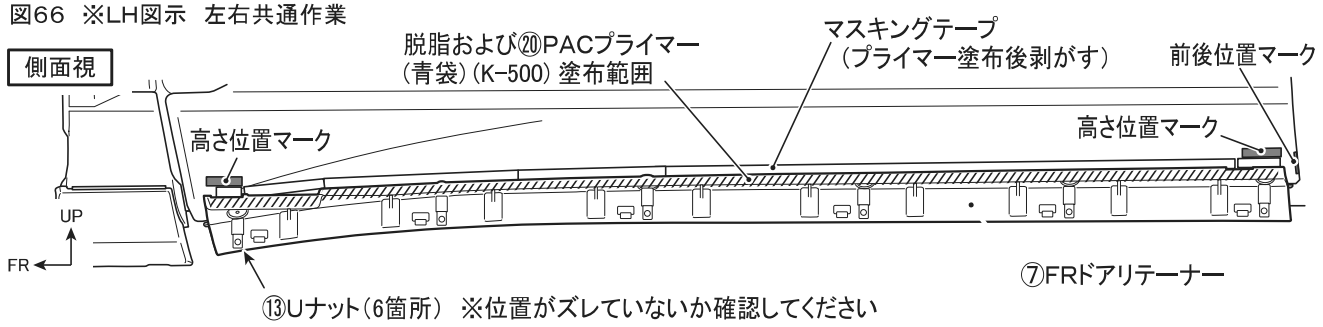
4. ②FRドアアウターを取り外し、⑦FRドアリテーナーの斜線部をイソプロピルアルコール（IPA）で一方向に拭いて脱脂し、⑳PACプライマー(青袋)（K-500）を塗布する。
塗布後、⑦FRドアリテーナー取り付けの際に貼り付けたマスキングテープを剥がす。（図66参照）
※高さ位置出し、前後方向位置出しマークのマスキングテープは剥がさないでください。

⚠注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

⚠注意：脱脂作業を行う際は、換気に注意して火気を近づけないようにしてください。

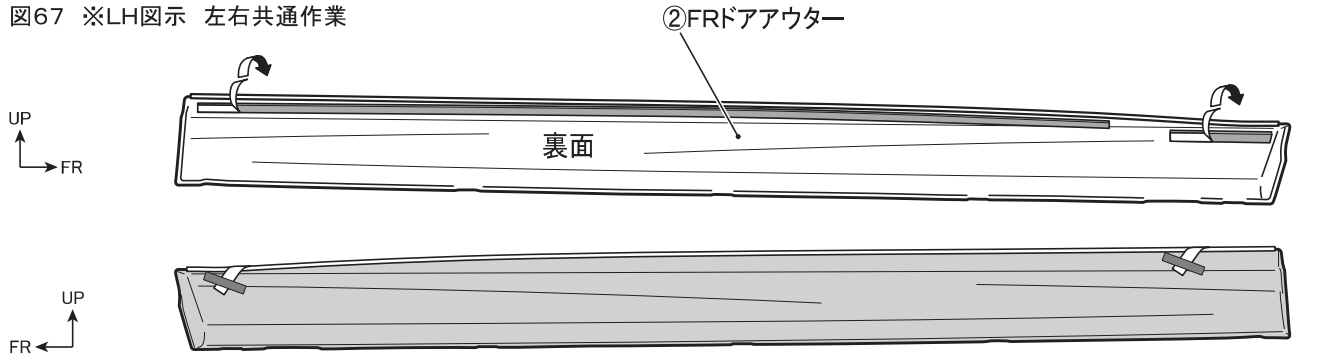
アドバイス：脱脂後は、十分に乾燥させてください。

図66 ※LH図示 左右共通作業



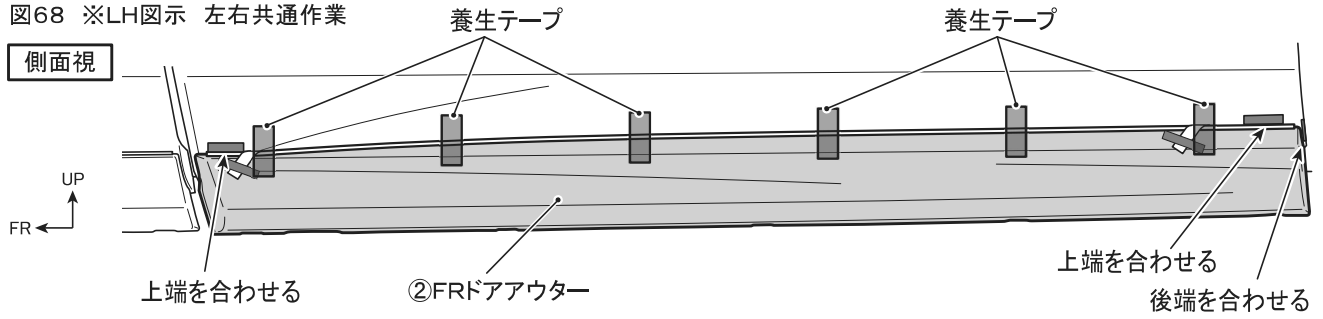
5. ②FRドアアウターの両面テープ離型紙の一部約30mmを剥がし、表面に折り返してマスキングテープで貼り付ける。（図67参照）

図67 ※LH図示 左右共通作業



6. ②FRドアアウターを⑦FRドアリテーナーに被せ、後端とモール上端を位置出しテープに合わせ、養生テープで固定する。

図68 ※LH図示 左右共通作業

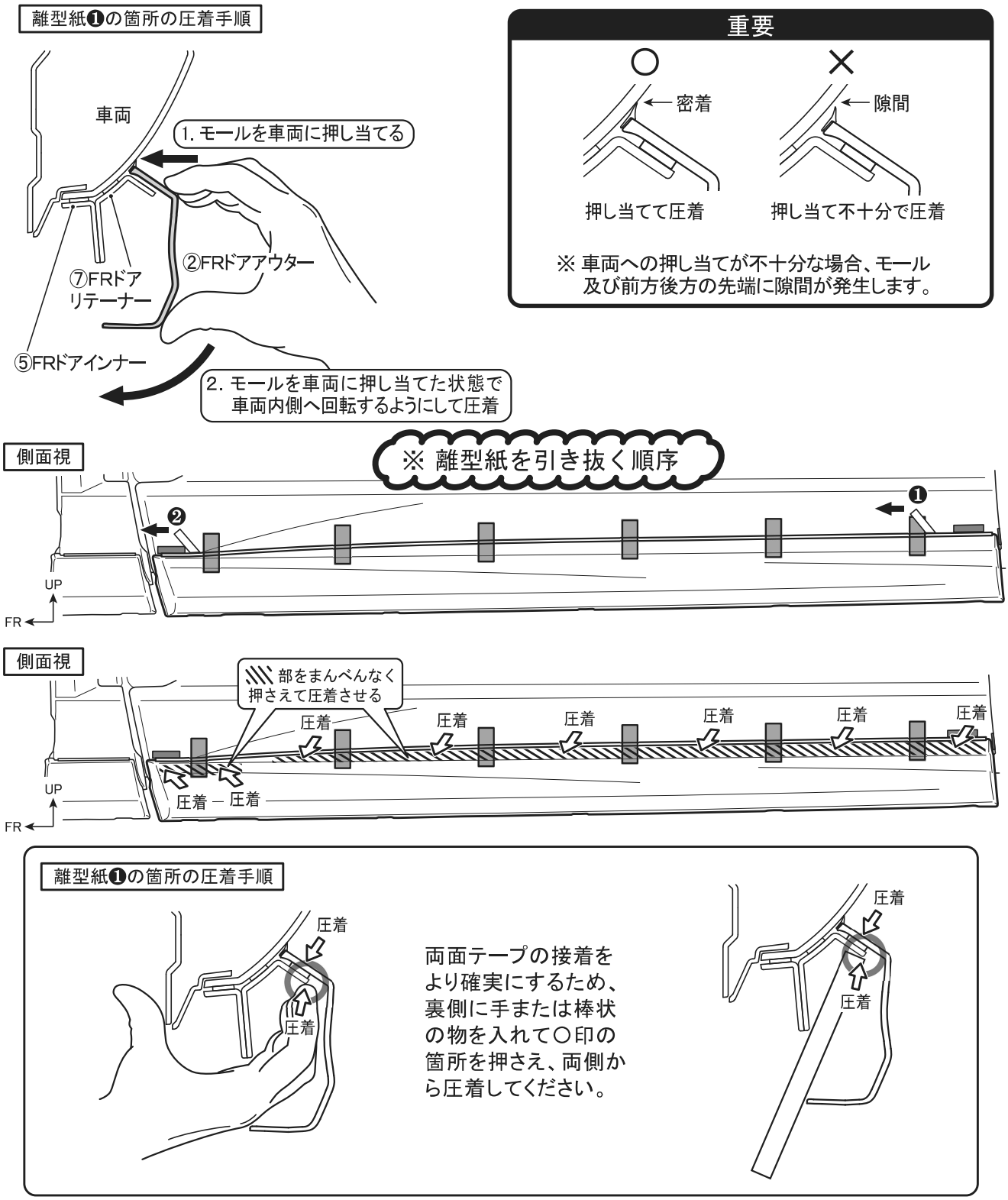


7. ②FRドアアウターのモールを車両に押し当てて、隙が発生しないよう、両面テープ離型紙を矢印の方向に引き抜いて②FRドアアウターを圧着する。

⚠注意：圧着の際は、取付位置がズレないよう注意して圧着してください。

アドバイス：
- 両面テープの貼り直しをすると、接着力が極端に低下します。意図しない箇所に付かないよう気を付けて作業をしてください。
- 両面テープの圧着は、49N（5kgf/cm2）程度の力で行なってください。

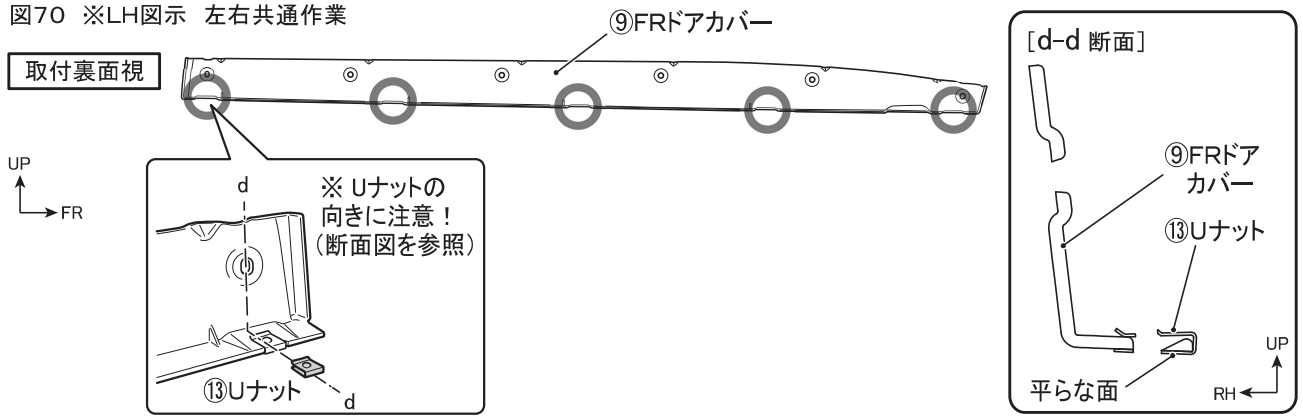
図69 ※LH図示 左右共通作業



【FRドアカバーの取り付け】

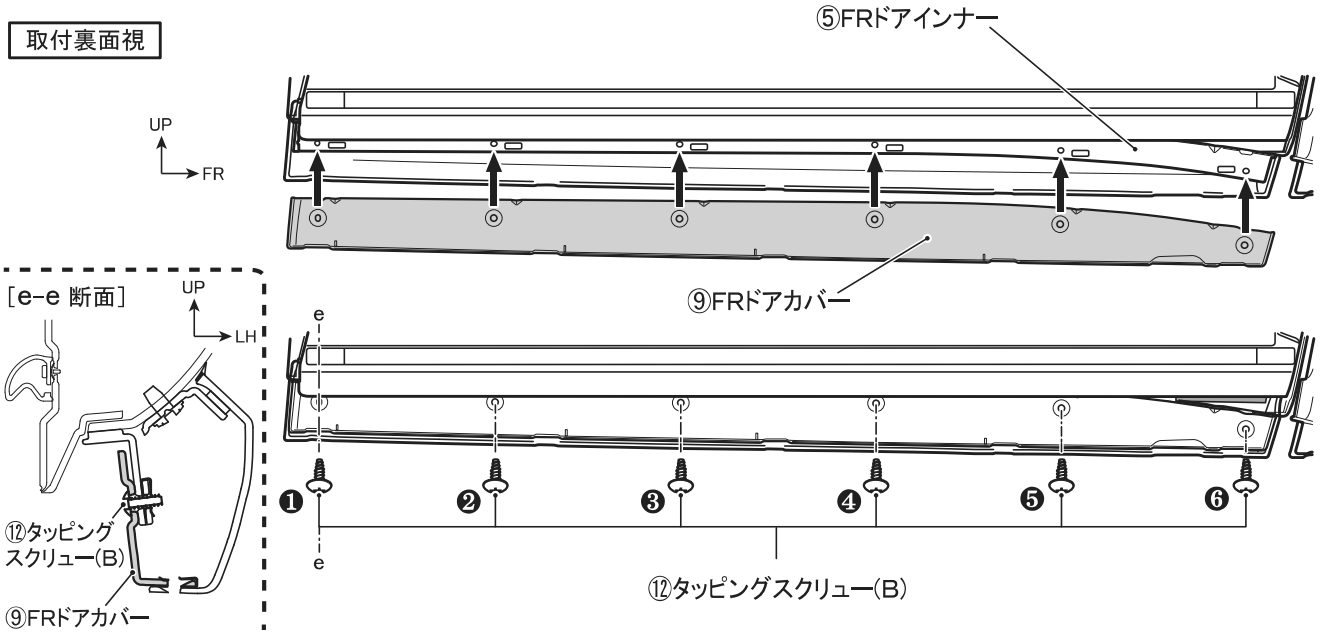
1. ⑨FRドアカバーの図の位置（5箇所）に、⑬Uナットを取付ける。

図70 ※LH図示 左右共通作業



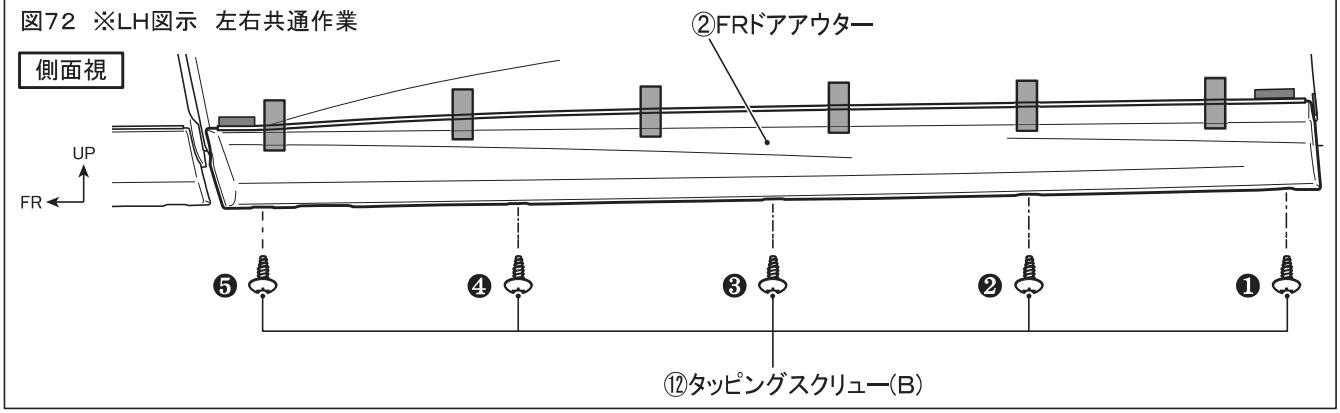
2. ⑨FRドアカバーの穴（6箇所）を⑤FRドアインナーの穴に合わせ、⑦FRドアリテーナーの⑬Uナットに、⑫タッピングスクリュー(B)を❶～❻の順に取り付けて仮締めする。（図71参照）

図71 ※LH図示 左右共通作業



3. ②FRドアアウター下面の穴（5箇所）を、⑨FRドアカバーの⑬Uナットに、⑫タッピングスクリュー(B)を❶～❺の順に取り付けて仮締めする。（図72参照）

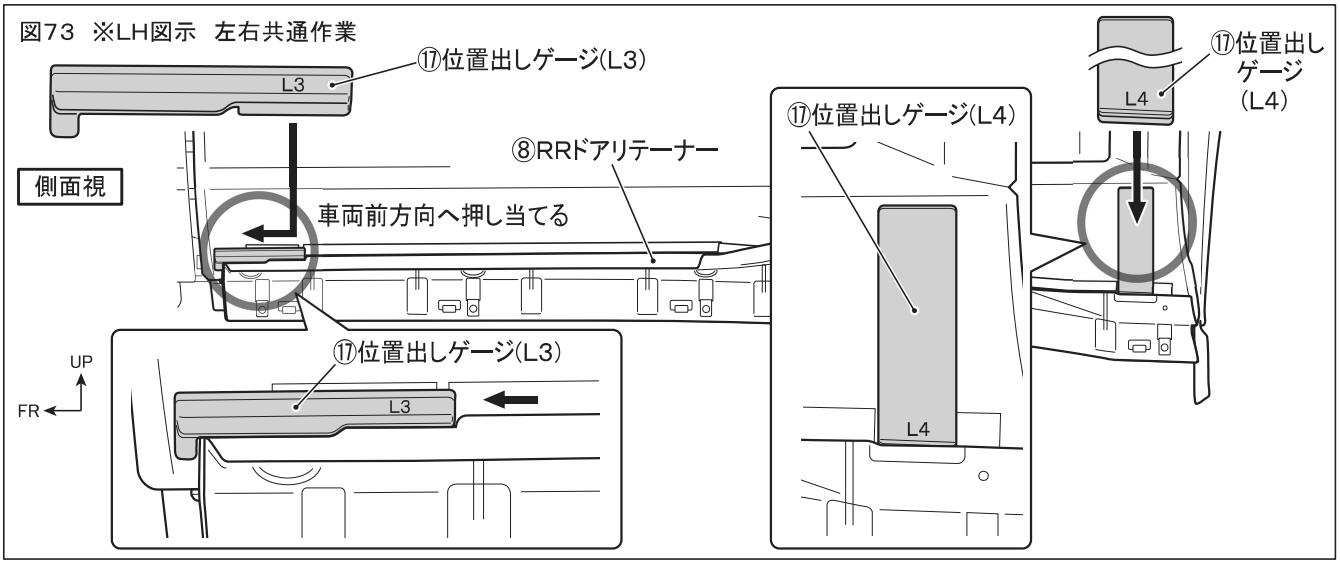
図72 ※LH図示 左右共通作業



【RRドアアウターの取り付け】

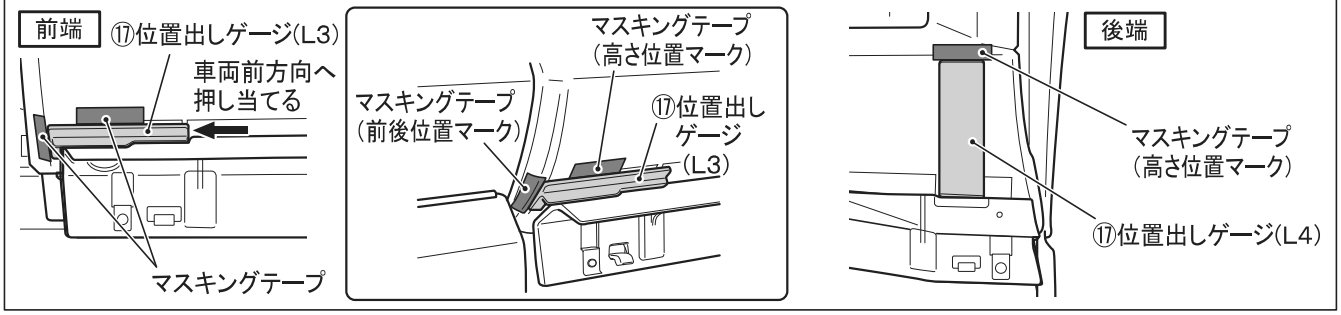
1. ⑧RRドアリテーナー上面の前部に、⑰位置出しゲージ(L3) を差し込み、車両前方向へ押し当てる。
⑧RRドアリテーナー上面の後部に、⑰位置出しゲージ(L4) を差し込む。

図73 ※LH図示 左右共通作業



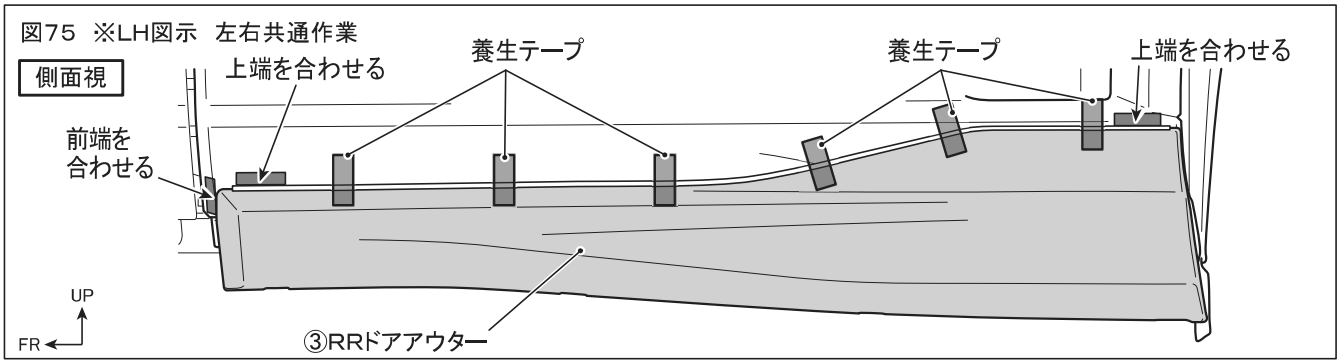
2. ⑰位置出しゲージ(L3)の上端に③RRドアアウター取り付け高さ位置出しのマスキングテープを、前端に取り付け前後方向位置出しのマスキングテープを貼る。マスキングテープ貼付後、⑰位置出しゲージ(L3)を取り外す。⑰位置出しゲージ(L4)の上端に取り付け高さ位置出しのマスキングテープを貼る。マスキングテープ貼付後⑰位置出しゲージ(L4)を取り外す。

図74 ※LH図示 左右共通作業



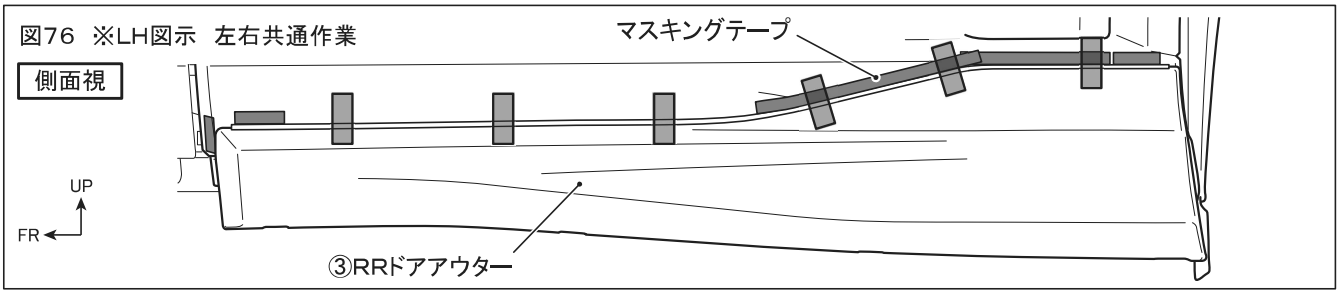
3. ③RRドアアウターを⑧RRドアリテーナーに被せ、前端とモール上端を位置出しテープに合わせて、養生テープで固定する。

図75 ※LH図示 左右共通作業



4. ③RRドアアウターの端末に合わせてマスキングテープを貼る。(図76参照)

図76 ※LH図示 左右共通作業



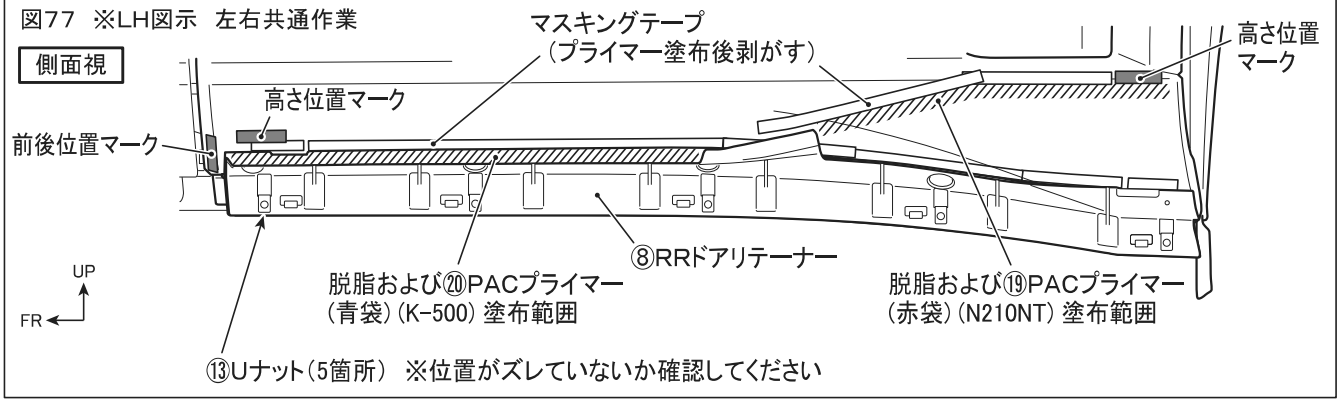
5. ③RRドアアウターを取り外し、⑧RRドアリテーナーの斜線部をイソプロピルアルコール（IPA）で一方向に拭いて脱脂し、⑳PACプライマー(青袋)（K-500）を塗布する。塗布後、⑧RRドアリテーナー取り付けの際に貼り付けたマスキングテープを剥がす。
図77の車両の斜線部をイソプロピルアルコール（IPA）で一方向に拭いて脱脂し、⑲PACプライマー（赤袋）（N210NT）を塗布する。塗布後、マスキングテープを剥がす。
※高さ位置出し、前後方向位置出しマークのマスキングテープは剥がさないでください。

⚠注意：脱脂を行う際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

⚠注意：脱脂作業を行う際は、換気に注意して火気を近づけないようにしてください。

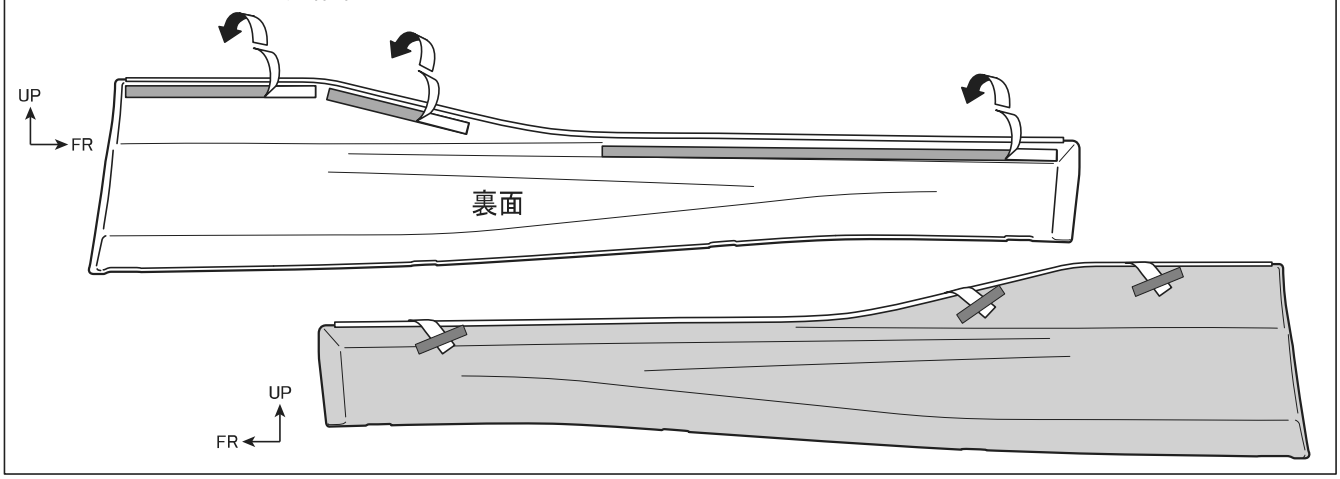
アドバイス：脱脂後は、十分に乾燥させてください。

図77 ※LH図示 左右共通作業



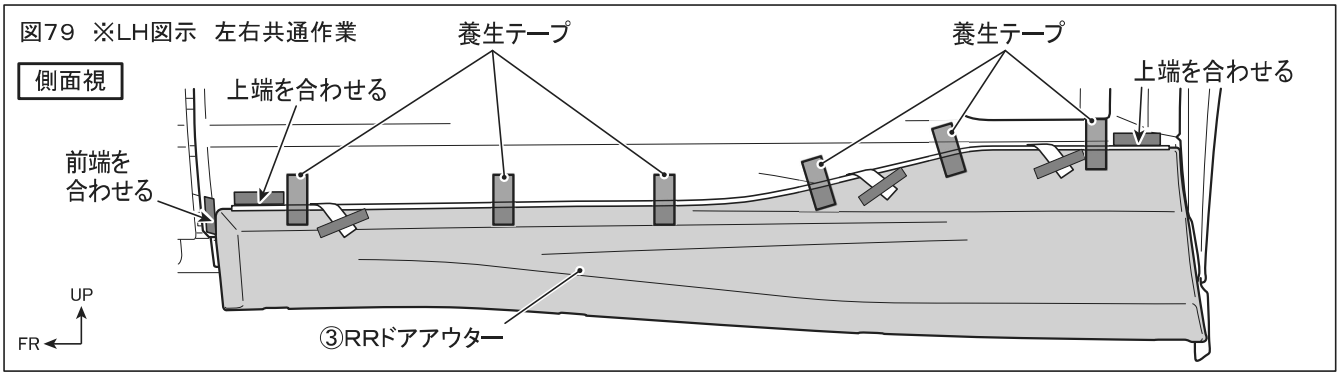
6. ③RRドアアウターの両面テープ離型紙の一部約30mmを剥がし、表側に折り返して、マスキングテープで貼り付ける。

図78 ※LH図示 左右共通作業



7. ③RRドアアウターを、⑧RRドアリテーナーに被せ、前端とモール上端を位置出しテープに合わせ、養生テープで固定する。

図79 ※LH図示 左右共通作業

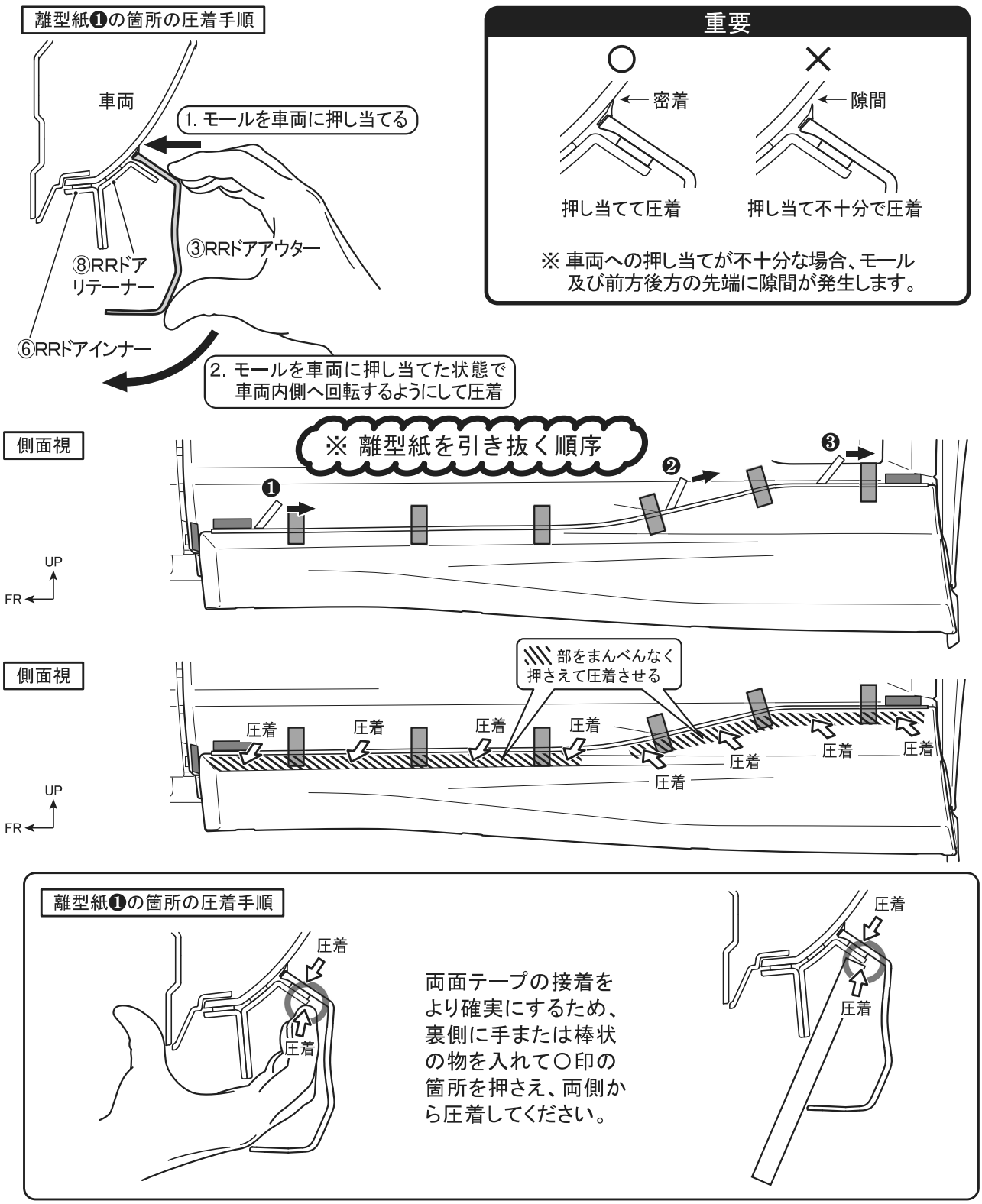


8. ③RRドアアウターのモールを車両に押し当てて、隙が発生しないよう、両面テープ離型紙を矢印の方向に引き抜いて、③RRドアアウターを圧着する。

⚠注意：圧着の際は、取付位置がズレないよう注意して圧着してください。

アドバイス：
- 両面テープの貼り直しをすると、接着力が極端に低下します。意図しない箇所に付かないよう気を付けて作業をしてください。
- 両面テープの圧着は、49N（5kgf/cm2）程度の力で行なってください。

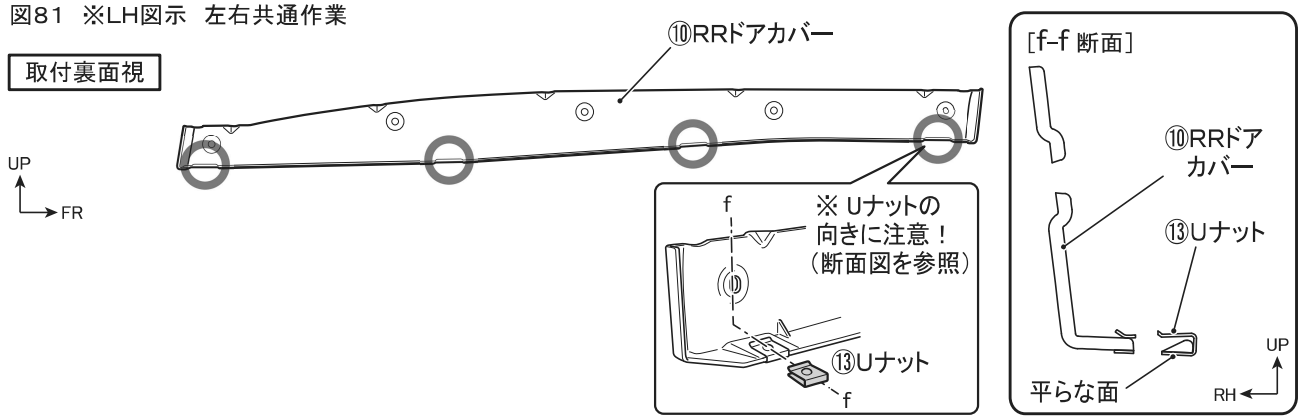
図80 ※LH図示 左右共通作業



【RRドアカバーの取り付け】

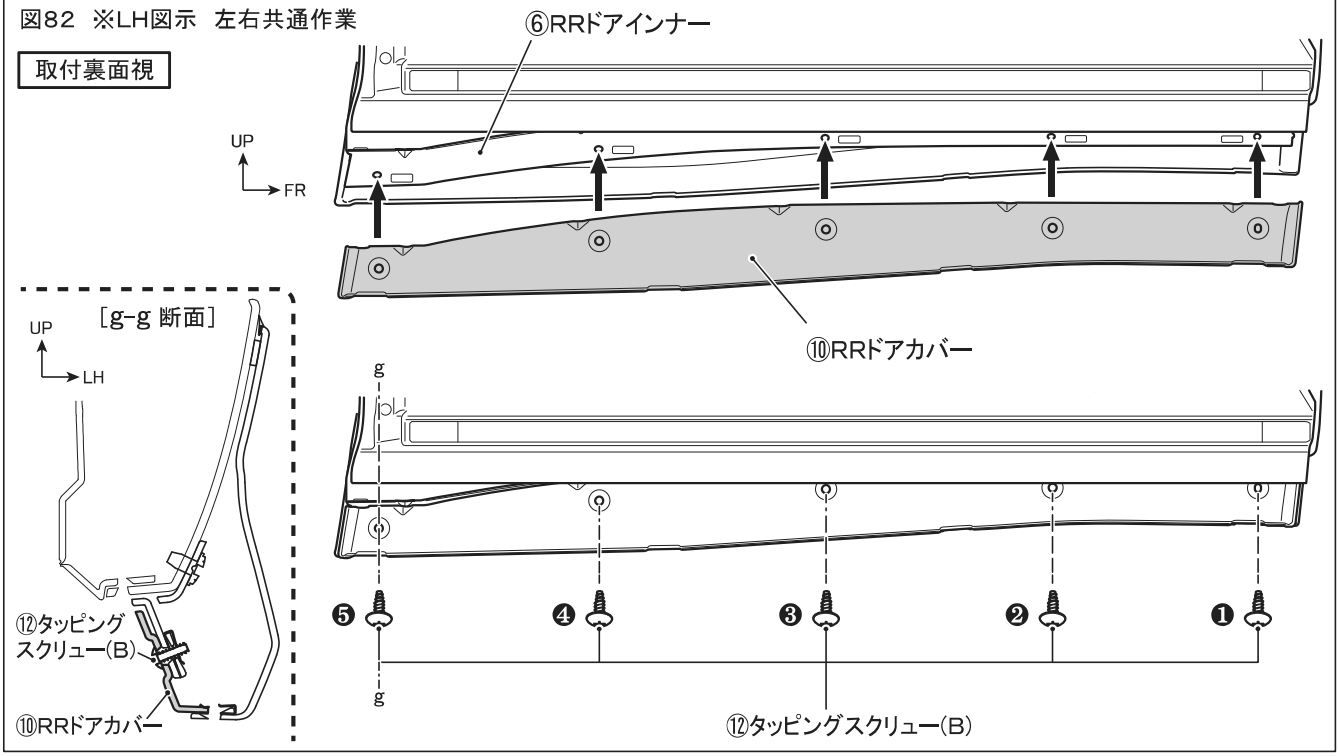
1. ⑩RRドアカバーの図の位置（4箇所）に、⑬Uナットを取付ける。

図81 ※LH図示 左右共通作業



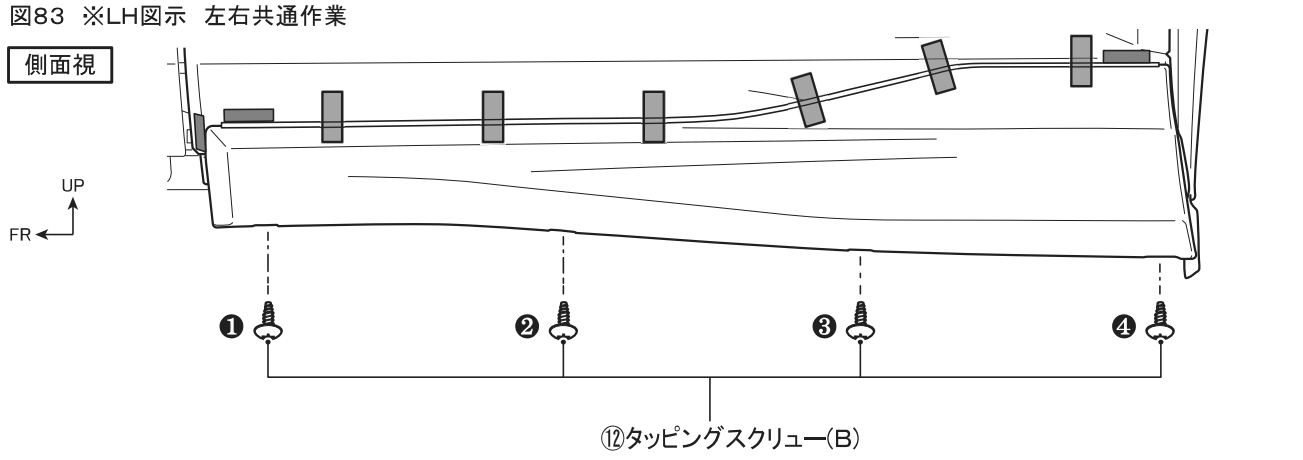
2. ⑩RRドアカバーの穴（5箇所）を⑥RRドアインナーの穴に合わせ、⑧RRドアリテーナーの⑬Uナットに、⑫タッピングスクリュー(B)を❶～❺の順に取り付けて仮締めする。（図82参照）

図82 ※LH図示 左右共通作業



3. ③RRドアアウター下面の穴（4箇所）を、⑩RRドアカバーの⑬Uナットに、⑫タッピングスクリュー(B)を❶～❹の順に取り付けて仮締めする。（図83参照）

図83 ※LH図示 左右共通作業



4. RH側も同様の手順にて取り付ける。
5. 車両スクリュー・⑪タッピングスクリュー(A) ・⑫タッピングスクリュー(B)を本締めする。
6. マスキングテープ、養生テープをすべて剥がす。
7. 取り付けた両面テープ貼り付け位置を再圧着する。

■ 取付完了後の点検・注意事項

1. 製品全周に渡り、浮き・剥がれ等、無いことを確認する。
2. 車両およびサイドスカート廻りに傷が付いていないことを確認する。
3. 本取り付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。
   該当車両の修理書(トヨタ自動車㈱発行) に従い、各部の点検・調整・設定を行なってください。
4. 両面テープの接着力は安定するまで3～5時間程度必要です。製品の取り付け後は、最低3時間程度、強い振動や風圧 (車両の移動を含む) が、掛からないようにオープンタイム (静止時間) をお取りください。
5. 両面テープは十分に圧着してください。圧着が不十分な場合、浮き ・ 剥がれ等の症状が発生し脱落などの重大な不具合が発生する可能性があります。両面テープ接着後、24 時間以内は雨 ・ 洗車等で接着部に水が掛からないようにしてください。接着力が低下し、剥がれ ・ 脱落等が発生する可能性があります。

■ 未塗装品の取り扱いについて

下記は未塗装品（MSD44-30008-NP）の塗装前、塗装後の作業を記載しています。
下記要領に従い作業を行なってください。

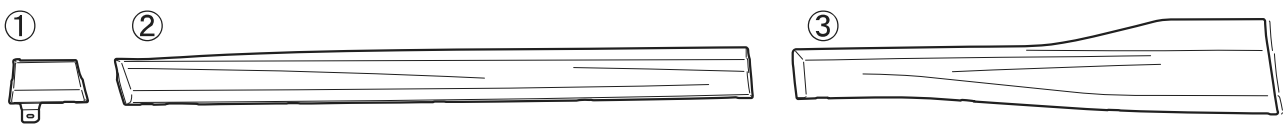
⚠注意：本製品は下地処理として、製品表面の面出しまで実施してあります。塗装前の下地処理として、足付け、脱脂、プライマーサフェーサー塗装は販売店様にて実施してください。

※ 本取付・取扱要領書は、主にLH側を示しており、RH側も同様に行なってください。

□ サイドスカートの塗装

1. 図84のように、①FRフェンダーアウター、②FRドアアウター、③RRドアアウターを車両色で塗装する。

図84　※LH図示　左右共通作業



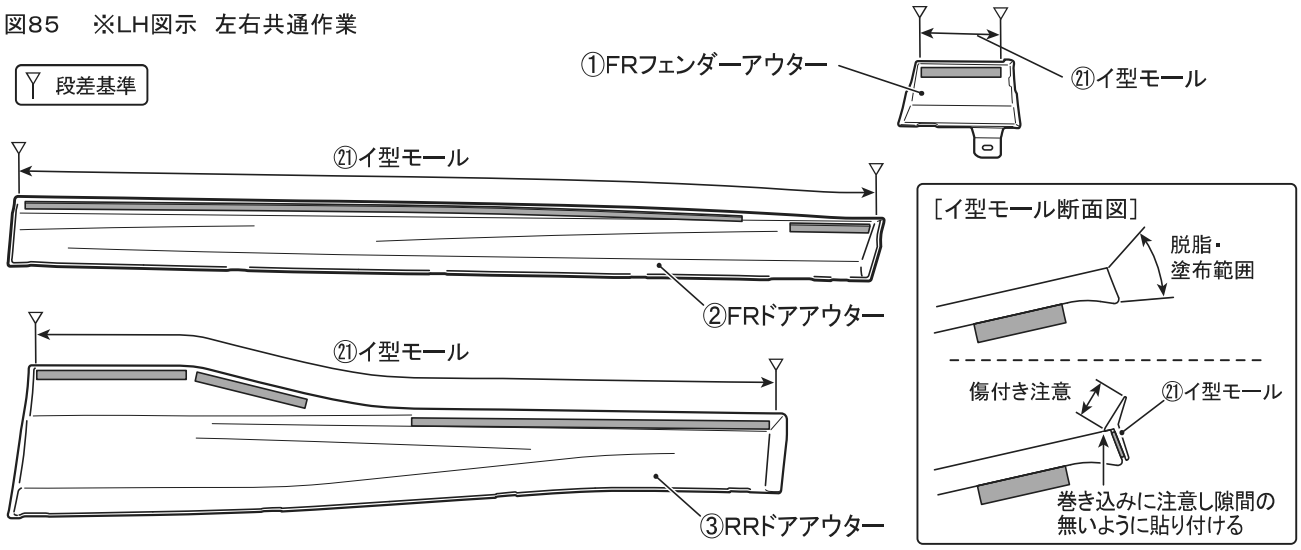
⚠警告：両面テープには、 絶対に塗装しないでください。 接着力が低下します。
マスキングテープを貼るなどして対応してください。

⚠注意：乾燥温度を 70℃以上に上げますと、 製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。 強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。

□ モールの貼り付け

1. 図85のように、㉑イ型モール貼り付け部の汚れを取り除き、イソプロピルアルコール（IPA）で一方向に拭いて脱脂し、モール貼付け部のみ⑳PACプライマー（青袋）を塗布する。

図85　※LH図示　左右共通作業



⚠注意：脱脂を行なう際、上記以外の溶剤は使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

⚠注意：PACプライマー（青袋）は、サイドスカート取り付け時に再使用します。揮発性が高いので速やかに袋に戻し揮発を抑えてください。

⚠注意：プライマーが塗布範囲以外に付着した場合は、直ちにイソプロピルアルコール（IPA） で拭き取ってください。付着してしまいますと、変色する事がありますので注意してください。

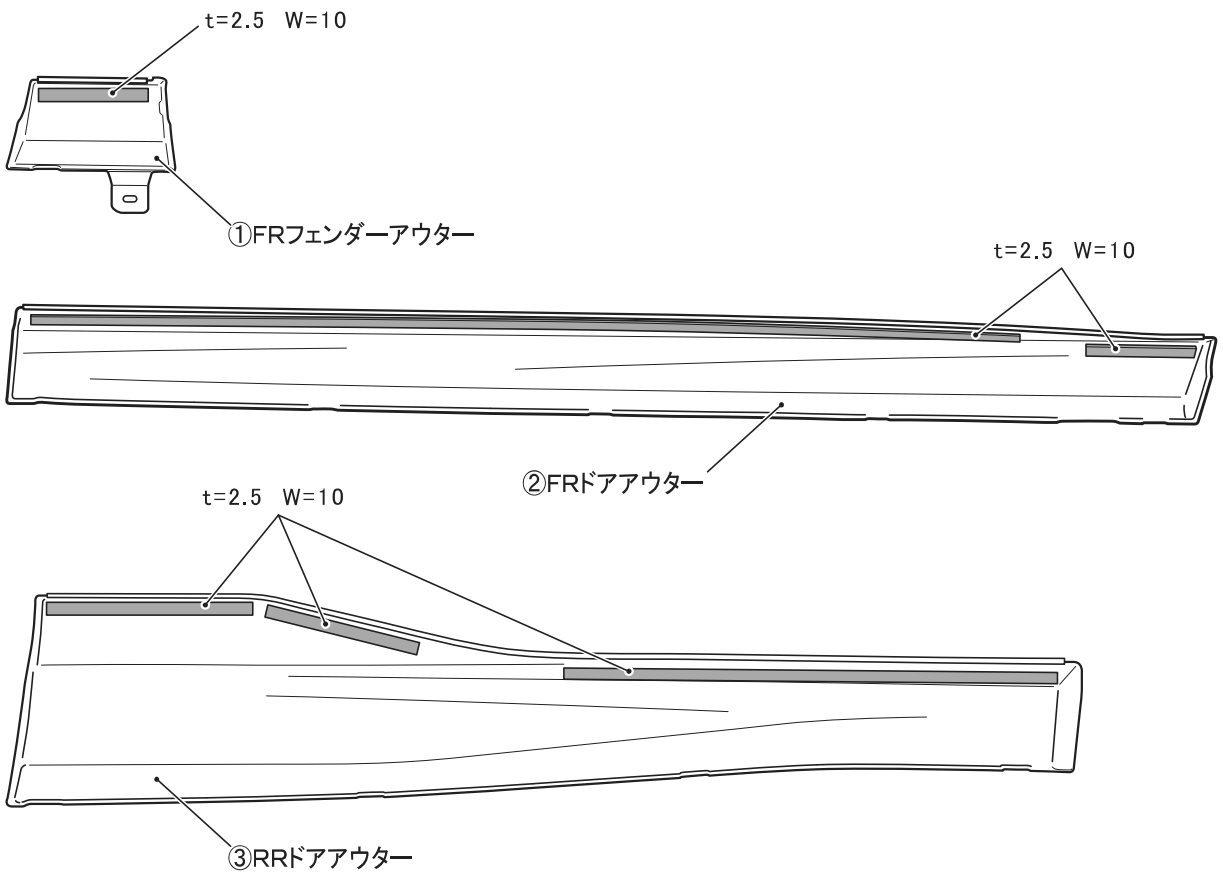
アドバイス：脱脂作業を行なう際は、換気に注意して、火気を近づけないよう注意してください。

2. ㉑イ型モールの両面テープの離型紙を剥がしながら、貼り付け圧着する。モールは長めに設定されているため、長さを合わせハサミ等で切り落とす。

■ 補修キット両面テープ貼り付け

1. 補修キットを使用してサイドスカートの再取付を行なう際は、図を参照に両面テープを選択し貼り付けてください。

図86　※LH図示　左右共通作業



株式会社トヨタカスタマイジング＆ディベロップメント
モデリスタ商品問い合わせ窓口
TEL:050-3161-1000
https://www.modellista.co.jp/

MODELLISTA

脱脂作業要領書

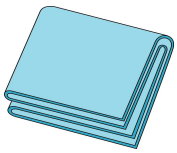
本書ではエアロパーツ等を取付ける際の脱脂作業について記載してあります。
取付け前に必ずお読みいただき、正しい要領で脱脂作業を行ってください。

エアロパーツの取付け・脱脂作業の要領を
解説動画でご覧いただけます。
右のＱＲコードよりアクセスのうえ
ご確認ください。

①エアロ取付準備・脱脂　（約 3 分）
②エアロ位置決め・取付・圧着（約 6 分）
③デカール準備・水貼り・圧着（約 4 分）
合計　約 13 分

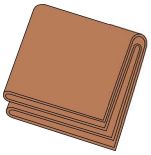
■　取付け時の脱脂作業に必要な工具等


水拭き用バケツ


合成セーム皮


脱脂剤用
スプレーボトル


ゴム手袋


DRY 用
ウエス


WET 用
ウエス


イソプロピルアルコール(IPA)
※純度 100%推奨

■　脱脂作業上の注意事項

1．ホコリ・チリ等のない換気の良い作業場で作業を行ってください
2．隣接する場所で、ワックスがけやポリッシュ作業等は行わないで下さい。
　※飛散した油脂やワックス等の成分が車両に付着してしまいます。
3．脱脂剤を取り扱いの際は、眼・皮膚に触れないように保護具を着用のこと。
4．脱脂剤を取り扱いの際は、作業場に火気・熱源のないことを確認すること。
5．脱脂剤を取り扱いの際は、蒸気を吸い込まないように作業場内の換気に注意のこと。

⚠注　意・・・・注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷する等のおそれがあることを記載しています。

アドバイス・・スピーディーに確実に作業していただく上で、知っておいていただきたいことを記載しています。

★脱脂作業概要《重要》

◎【脱脂作業】とは、取付け面の表面に付着した油脂分を取り除き、両面テープの性能を十分に発揮させるための重要な下地処理です。
下地処理が不十分だと、両面テープの性能が著しく低下して、浮き・ハガレ脱落などの不具合を起こす場合があります。
大変に重要な作業となりますので確実に行ってください。

◎ 脱脂剤は、取付け面に付着した油脂分を浮かび上がらせて、ウエスへの吸着を促す溶剤です。
脱脂剤で取付け面を拭いただけでは、十分な脱脂は行えません。
≪脱脂作業前に≫以降の作業要領を十分に理解したうえで作業を行ってください。

■　脱脂作業前に

- 取付け面のホコリ・チリ等の汚れを十分な流水で洗い流す。
  汚れのひどい場合は、洗浄剤を使用して汚れを落とし、洗浄剤を十分に洗い流すこと。
- 取付け面にコーティング等を施工されている場合は、除去剤・コンパウンド等を使用し除去してください。除去後、十分に水洗いを行ってください。
  ※コーティング剤が残っていると両面テープはハガレます。
- 水洗い後は、取付け面に付いた水滴を完全にふき取ってください。

■　脱脂作業要領

- 取付け面の洗浄を行い、固く絞った合成セーム革等を使用し拭き上げて水滴をしっかりと取り除く。

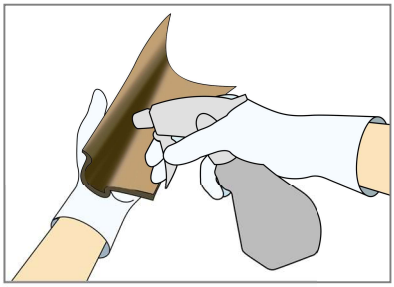

水拭き用バケツ


合成セーム皮

- スプレーボトルに入れた脱脂剤をWET用ウエスに吹きつける。


WET 用ウエス

※　ウエスは清潔なウエスを使用して、拭き上げ時にクズなどが出ない素材を選んでください。

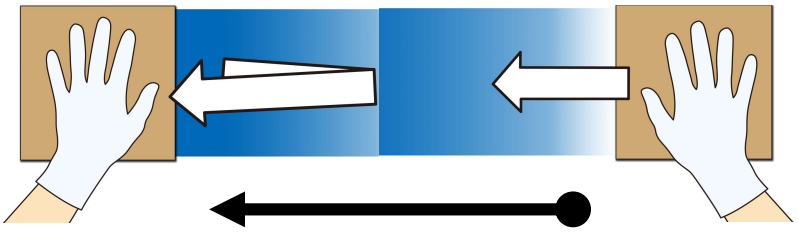


WET 用ウエスにスプレーボトルを５cm ほど離して、初回は１０回程度スプレーをして、ウエスが湿っている状態で取付け面を拭いてください。
以降は WET ウエス表面が乾く前に追加で５回程度スプレーし、常に湿った状態を保つようにしてください。

● 取付け面の脱脂作業を行う

①【WET 拭き】
脱脂剤を含ませたウエスで
１往復で拭き油脂分を浮き上がらせる

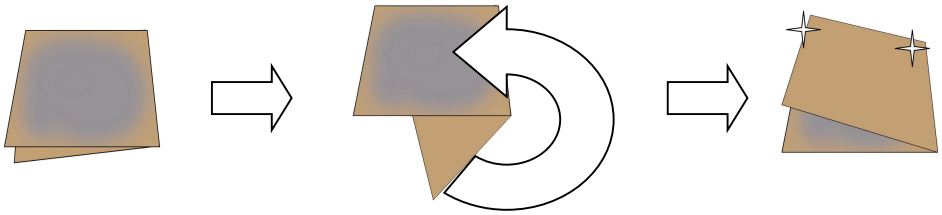
②【DRY 拭き】
DRY 拭きウエスで一方向に
拭き上げ油脂分を取り除く



１ブロック６０ｃｍ程度として両手に WET と DRY のウエスを交互に持ち
WET⇒DRY の順に拭き上げて脱脂する。
範囲が広い場合は１ブロック毎を数回に分けて行い、仕上げに面を通して拭き上げる

WET 拭きのあと脱脂剤が乾かないうちに DRY 拭きで一気に拭き上げを
行ってください。
（上図のように両手にウエスを持ち作業を行うと素早く作業できます。）

DRY 拭き作業後に拭き上げた面に、拭き跡が残っている場合は油脂分が
残っていますので、再度 WET・ DRY 拭きを行ってください。



WET／DRY のウエス共に３～５ブロック毎にウエス表面を折り返し
ウエスの拭き取り面が常に清潔な状態で作業を行ってください。

汚れたままのウエスを使い続けると、ウエスに拭き取った油脂分が取付け面に
再び付着して、エアロパーツの浮き・ハガレの原因となります。

脱脂作業がしっかり行われている取付け面は、DRY 拭きを行った際に
ウエスへの抵抗が増して、拭き上げが重くなります。
作業前と作業後のウエスの抵抗感を目安に、脱脂を行ってください。

脱脂後の取付け面には、指などを触れないように作業を行ってください。

脱脂後は長時間放置せず、すぐに作業を行ってください。

チリ・ホコリ等が付着しないように、十分注意してください。
パーツの取り付け方法は、各パーツの取扱説明書ならびに取付要領書に
したがって行ってください。